

**令和元年度
東京都里親制度に関する都民の意識調査**

令和元年 8 月

東京都福祉保健局

目 次

調査実施の概要.....	1
調査結果の詳細.....	3
1 里親制度の認知度.....	4
2 里親制度を知ったきっかけ.....	8
3 里親制度について知っていたこと.....	11
4 里親の印象.....	14
5 里親への関心.....	17
6 里親になってみたい理由.....	21
7 里親への登録を希望する際の課題.....	24
8 行政による支援等.....	27
9 里親制度が普及しない要因.....	30
10 有効な広報.....	33
調査票及び単純集計結果.....	37

調査実施の概要

1 調査目的

都民の里親に関する認知度や、里親になることに関心を持ったとしても何を弊害と感じるかといったことを調査し、今後の里親の広報や里親に対する支援策を検討する基礎資料とする。

2 調査項目

- (1) 里親制度の認知度
- (2) 里親の印象
- (3) 里親への関心
- (4) 里親制度が普及しない要因
- (5) 有効な広報

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満20歳以上70歳未満の男女個人
- (2) 標本数：3,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送（郵送送付・郵送回収）又はWebページ上での回答
- (5) 調査期間：令和元年6月28日～7月16日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 1,360標本（45.3%）
- (2) 未完了標本数（率） 1,640標本（54.7%）
- (3) 性・年齢別回収結果

性別 年齢	合計			男性			女性			無回答
	標本数	回収数	回収率 (%)	標本数	回収数	回収率 (%)	標本数	回収数	回収率 (%)	回収数
20～29歳	475	151	31.8	222	62	27.9	253	89	35.2	-
30～39歳	623	257	41.3	327	103	31.5	296	154	52.0	-
40～49歳	772	347	44.9	395	140	35.4	377	206	54.6	1
50～59歳	626	314	50.2	345	141	40.9	281	172	61.2	1
60～69歳	504	284	56.3	265	132	49.8	239	152	63.6	-
無回答	-	7	-	-	-	-	-	-	-	7
合計	3,000	1,360	45.3	1,554	578	37.2	1,446	773	53.5	9

5 標本構成 (n = 1,360) 上段：実数
下段：(%)

(1) 地 域

区部	市部	町村部	無回答	計
913	436	11	-	1,360
67.1	32.1	0.8	-	100.0

(2) 年 齢

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	無回答	計
男性	62	103	140	141	132	-	578
	10.7	17.8	24.2	24.4	22.8	-	100.0
女性	89	154	206	172	152	-	773
	11.5	19.9	26.6	22.3	19.7	-	100.0
無回答	-	-	1	1	-	7	9
	-	-	11.1	11.1	-	77.8	100.0
計	151	257	347	314	284	7	1,360
	11.1	18.9	25.5	23.1	20.9	0.5	100.0

(3) 性 別

男性	女性	無回答	計
578	773	9	1,360
42.5	56.8	0.7	100.0

(4) 未・既婚

結婚している (事実婚を含む)	結婚していない	無回答	計
910	439	11	1,360
66.9	32.3	0.8	100.0

(5) 子供の有無

子供がいる	子供がいない	無回答	計
847	503	10	1,360
62.3	37.0	0.7	100.0

(6) 職 業

勤め人 (パートタイム 等も含む)	自営業 (農林漁業、 商工業等)	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答	計
939	101	180	29	86	16	9	1,360
69.0	7.4	13.2	2.1	6.3	1.2	0.7	100.0

調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

注1) 用語・符号等

- n —— Number of cases の略
 質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- M. T. —— Multiple Total の略
 M. A. の場合に、回答の合計を回答者数 (n) で割った比率で、
 通常 100%を超える。
- 図中「0」 } —— 皆無の結果を示す。
 表中「-」 }
- 図中「0.0」 } —— 0.05%未満の結果を示す。
 表中「0.0」 }

注2) 結果数値 (%) —— 数値は、各実数をもとに比率表示し、小数第2位を四捨五入している。
 したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。

注3) 調査結果には、統計上多少誤差 (標本誤差) が生じることがある。なお、層化二段無作為抽出法による標本誤差は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

Nは母集団数 (人)、nは回答者数 (人)、Pは回答率 (%) を表す。

注4) 調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。 (信頼度 : 95%)

回答の比率 (p) 基礎 (n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,360	±2.3%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±3.8%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

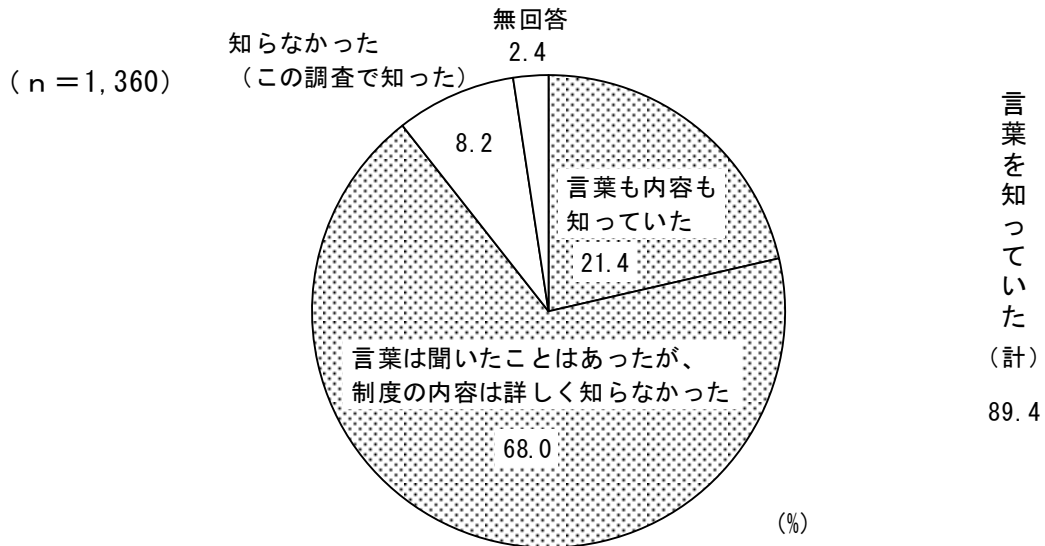
注5) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。
 なお、誤差を考慮し、nが50未満のものについてはふれていない場合が多い。

注6) 一部の図表では、対比を明確にするために選択肢の順序を入れ替えている。

1 里親制度の認知度

図1-1

問1. あなたは「里親制度」を知っていましたか。(1つを選択)



(注) 『言葉を知っていた (計)』は「言葉も内容も知っていた」「言葉は聞いたことはあったが、制度の内容は詳しく知らなかった」の合計

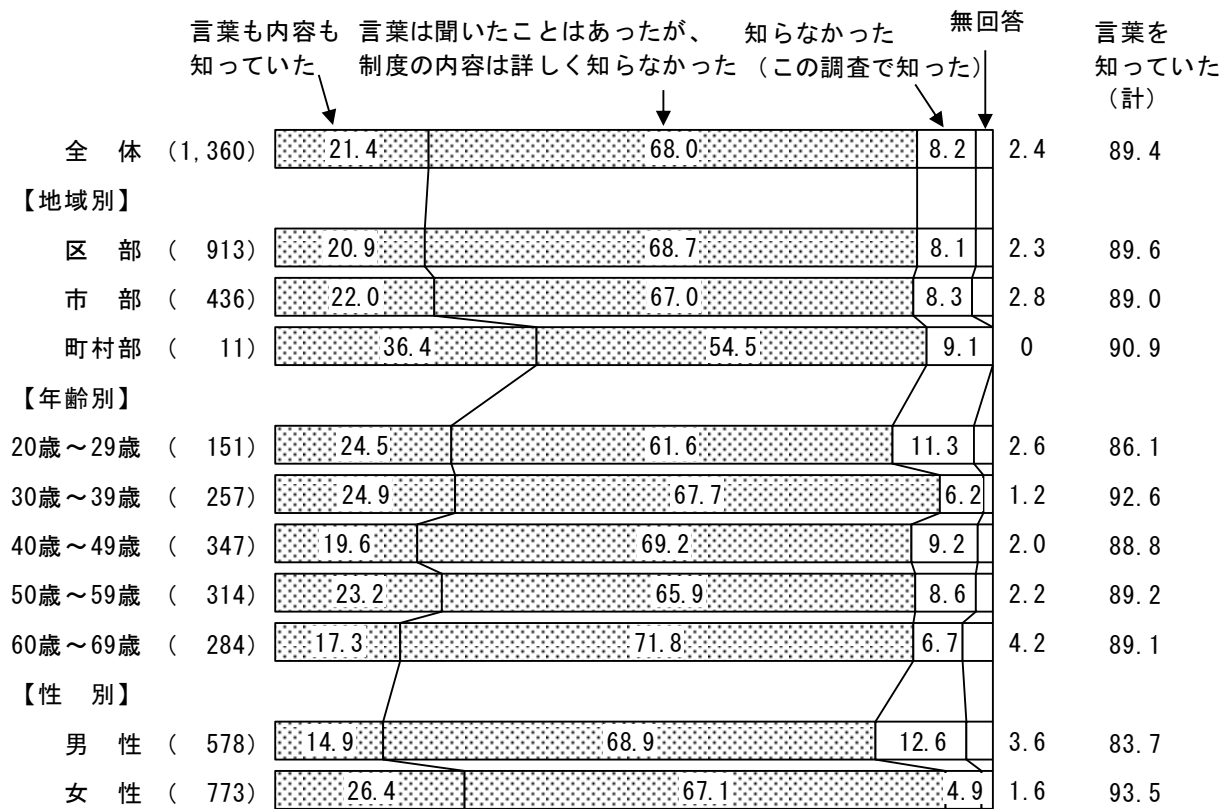
里親制度を知っているか聞いたところ、「言葉も内容も知っていた」が21.4%、「言葉は聞いたことはあったが、制度の内容は詳しく知らなかった」が68.0%で、この2項目を合わせた『言葉を知っていた (計)』の割合が89.4%となっている。一方、「知らなかった (この調査で知った)」が8.2%となっている。(図1-1)

地域別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「言葉も内容も知っていた」は30歳～39歳が24.9%、20歳～29歳が24.5%とやや高くなっている。

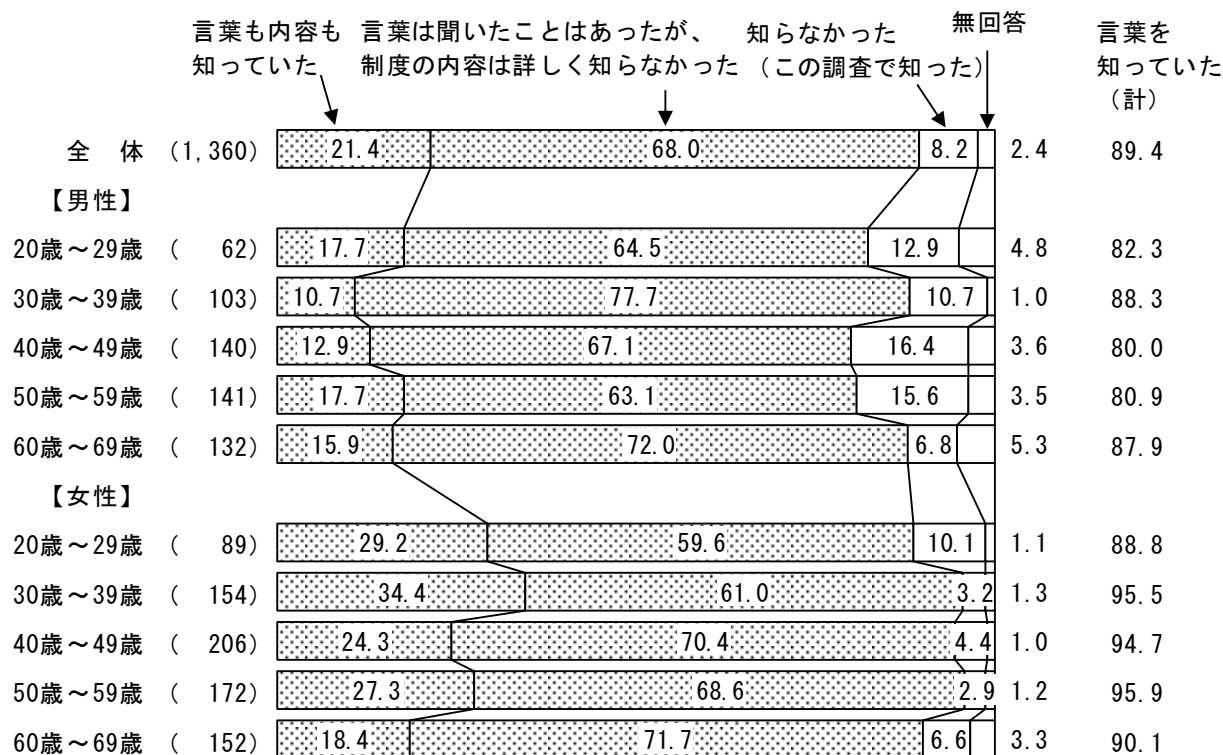
性別にみると、「言葉も内容も知っていた」は女性が26.4%と、男性より11.5ポイント高くなっている。(図1-2)

図1-2 里親制度の認知度 —地域別、年齢別、性別



性・年齢別にみると、「言葉も内容も知っていた」は女性30歳～39歳が34.4%、女性20歳～29歳が29.2%、女性50歳～59歳が27.3%と高くなっている。一方、「知らなかった（この調査で知った）」は男性40歳～49歳が16.4%、男性50歳～59歳が15.6%と高くなっている。（図1-3）

図1-3 里親制度の認知度 一性・年齢別



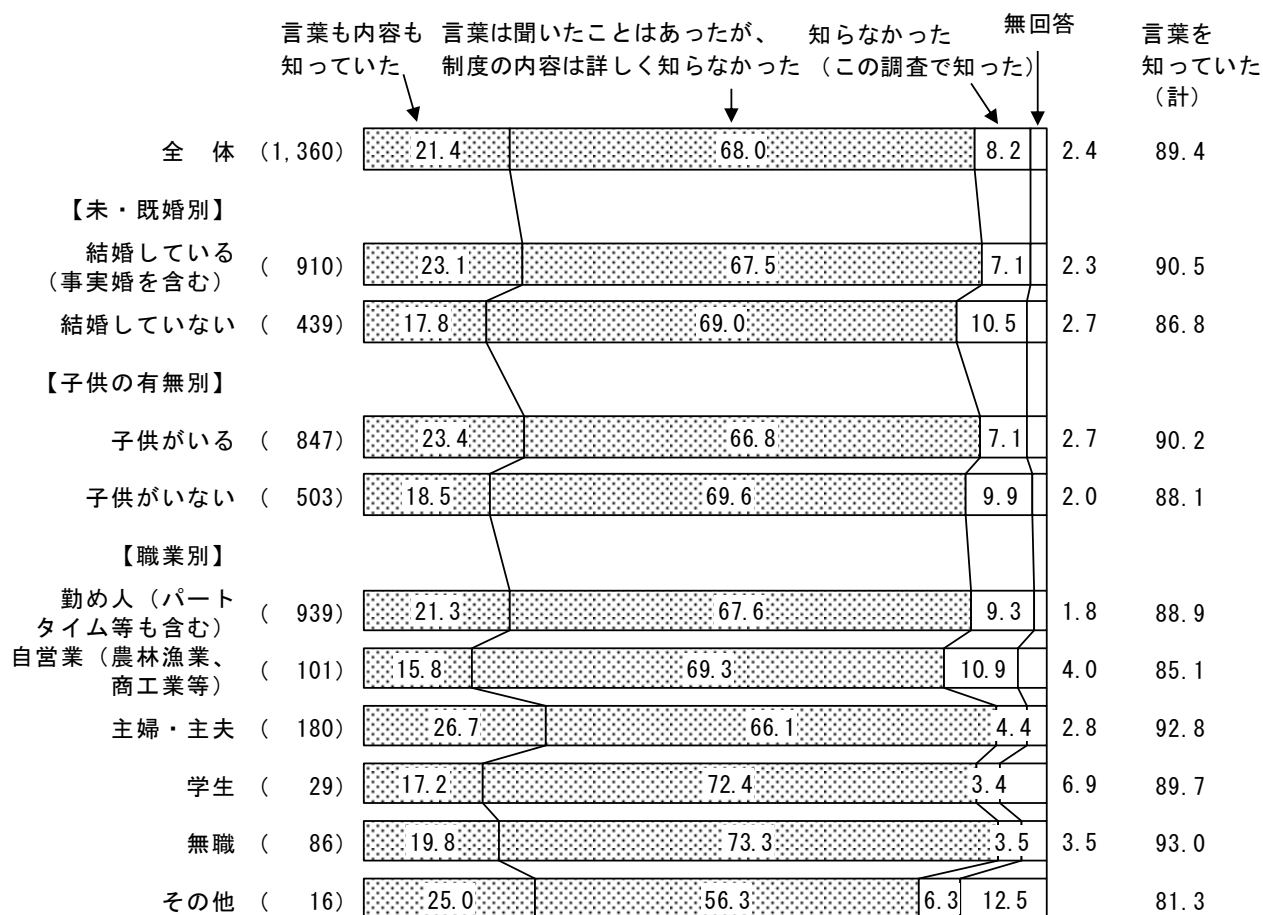
未・既婚別にみると、「言葉も内容も知っていた」は“結婚している（事実婚を含む）”が23.1%と、“結婚していない”より5.3ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「言葉も内容も知っていた」は“子供がいる”が23.4%と、“子供がいない”より4.9ポイント高くなっている。

職業別にみると、「言葉も内容も知っていた」は主婦・主夫が26.7%とやや高くなっている。

(図1-4)

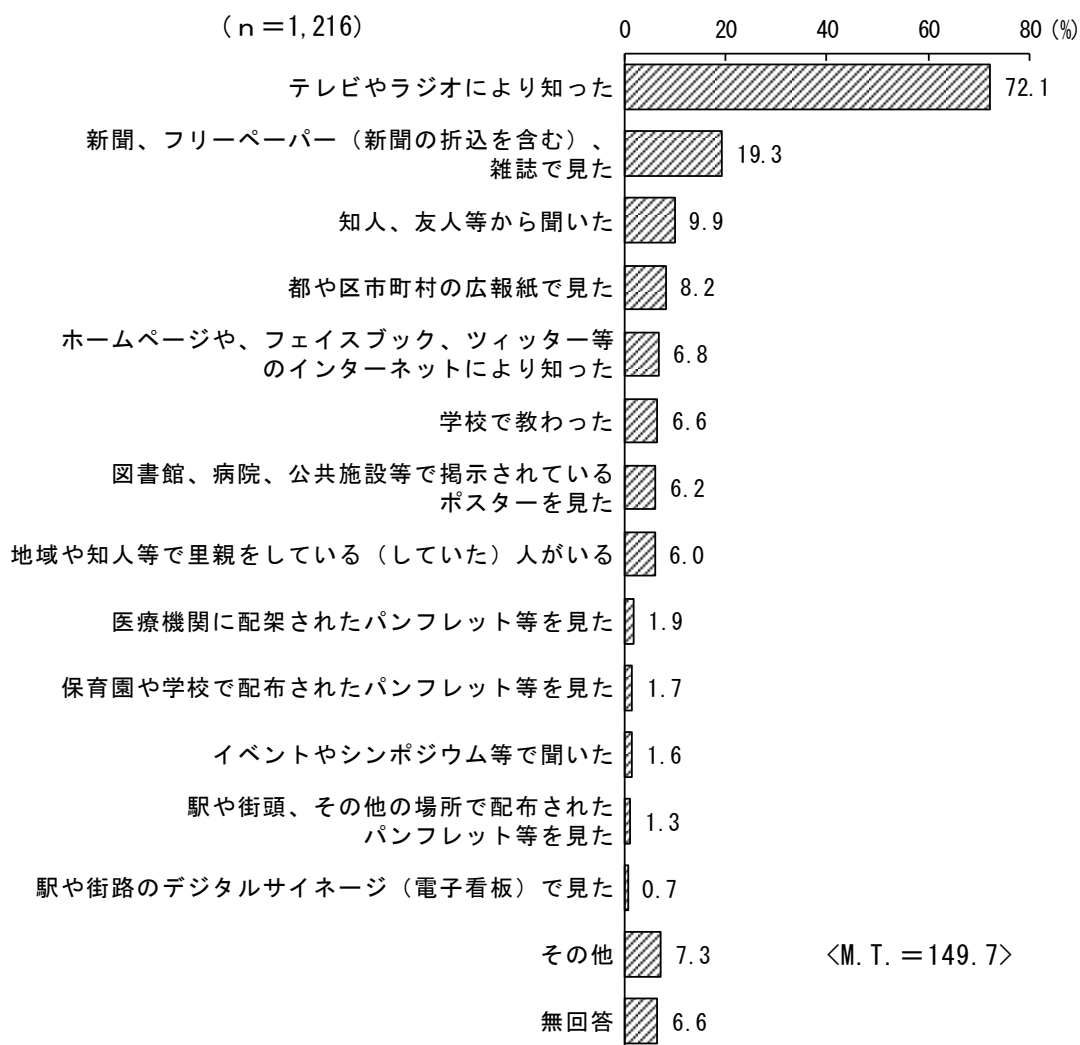
図1-4 里親制度の認知度 一未・既婚別、子供の有無別、職業別



2 里親制度を知ったきっかけ

図2-1

問1-1. (問1で「1 言葉も内容も知っていた」「2 言葉は聞いたことはあったが、制度の内容は詳しく知らなかった」とお答えの方に向かって) あなたは「里親制度」をどのようにして知りましたか。(複数回答可)



里親制度の言葉を知っていたと答えた人（1,216人）に里親制度を知ったきっかけを聞いたところ、「テレビやラジオにより知った」の割合が72.1%と最も高く、次いで「新聞、フリーペーパー（新聞の折込を含む）、雑誌で見た」が19.3%、「知人、友人等から聞いた」が9.9%などの順となっている。

(図2-1)

地域別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「新聞、フリーペーパー(新聞の折込を含む)、雑誌で見た」は60歳～69歳が31.2%、50歳～59歳が25.0%と高く、「学校で教わった」は20歳～29歳が24.6%と高くなっている。

性別にみると、「テレビやラジオにより知った」は女性が75.1%と、男性より7.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「新聞、フリーペーパー(新聞の折込を含む)、雑誌で見た」は男性60歳～69歳が35.3%、女性60歳～69歳が27.7%、女性50歳～59歳が25.5%、男性50～59歳が24.6%と高く、「都や区市町村の広報紙で見た」は女性60歳～69歳が15.3%、女性50歳～59歳が12.7%と高くなっている。「ホームページや、フェイスブック、ツイッター等のインターネットにより知った」は男性20歳～29歳が13.7%、女性30歳～39歳が11.6%と高く、「学校で教わった」は女性20歳～29歳が29.1%、男性20歳～29歳が17.6%と高くなっている。(図2-2)

図2-2 里親制度を知ったきっかけ —地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	テレビやラジオにより知った	新聞、フリーペーパー(新聞の折込を含む)、雑誌で見た	知人、友人等から聞いた	都や区市町村の広報紙で見た	ホームページや、フェイスブック、ツイッター等のインターネットにより知った	学校で教わった	図書館、病院、公共施設等で掲示されているポスターを見た	地域や知人等で里親をしている(している)人がいる	医療機関に配架されたパンフレット等を見た	保育園や学校で配布されたパンフレット等を見た	イベントやシンポジウム等で聞いた	駅や街頭、その他の場所で配布されたパンフレット等を見た	駅や街路のデジタルサイネージ(電子看板)で見た	その他	無回答
全体	1,216	72.1	19.3	9.9	8.2	6.8	6.6	6.2	6.0	1.9	1.7	1.6	1.3	0.7	7.3	6.6
<地域別>																
区市町村部	818	71.4	18.8	10.8	8.3	6.4	7.1	5.7	5.5	1.7	1.7	1.2	1.0	0.9	7.2	7.1
町村部	388	73.5	20.4	7.7	8.0	7.7	5.4	6.7	7.2	2.3	1.3	2.3	2.1	0.5	7.5	5.7
部	10	80.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	10.0	-
<年齢別>																
20歳～29歳	130	70.8	13.1	7.7	3.8	10.0	24.6	6.2	4.6	2.3	1.5	0.8	0.8	2.3	8.5	4.6
30歳～39歳	238	76.5	10.5	9.2	4.2	10.9	6.3	9.2	4.2	1.7	2.5	1.7	1.3	2.1	6.3	5.9
40歳～49歳	308	70.8	14.3	11.7	6.8	9.1	5.2	8.8	6.5	2.6	2.3	2.3	1.6	0.3	5.2	6.2
50歳～59歳	280	71.1	25.0	7.9	10.7	2.5	4.6	2.9	5.7	1.8	1.4	1.4	0.4	-	10.7	8.2
60歳～69歳	253	71.5	31.2	11.9	13.4	3.6	1.6	4.0	8.3	1.2	0.8	1.2	2.0	-	6.7	6.7
<性別>																
男性	484	67.8	22.5	9.5	6.8	7.4	5.6	4.5	4.5	1.7	1.7	1.4	1.9	0.6	6.6	6.6
女性	723	75.1	17.4	10.2	9.3	6.5	7.3	7.3	7.1	2.1	1.8	1.7	0.8	0.8	7.9	6.4
<性・年齢別>																
男性 20歳～29歳	51	64.7	17.6	7.8	2.0	13.7	17.6	9.8	7.8	3.9	-	2.0	-	3.9	13.7	3.9
男性 30歳～39歳	91	72.5	13.2	7.7	4.4	9.9	4.4	5.5	2.2	-	3.3	1.1	1.1	1.1	3.3	6.6
男性 40歳～49歳	112	68.8	17.0	12.5	5.4	9.8	4.5	6.3	5.4	3.6	1.8	1.8	1.8	-	3.6	8.9
男性 50歳～59歳	114	65.8	24.6	7.0	7.9	1.8	5.3	1.8	4.4	1.8	0.9	1.8	0.9	-	8.8	7.9
男性 60歳～69歳	116	66.4	35.3	11.2	11.2	6.0	2.6	2.6	4.3	-	1.7	0.9	4.3	-	6.9	4.3
女性 20歳～29歳	79	74.7	10.1	7.6	5.1	7.6	29.1	3.8	2.5	1.3	2.5	-	1.3	1.3	5.1	5.1
女性 30歳～39歳	147	78.9	8.8	10.2	4.1	11.6	7.5	11.6	5.4	2.7	2.0	2.0	1.4	2.7	8.2	5.4
女性 40歳～49歳	195	71.8	12.8	11.3	7.7	8.7	5.6	10.3	7.2	2.1	2.6	2.6	1.5	0.5	6.2	4.6
女性 50歳～59歳	165	75.2	25.5	8.5	12.7	3.0	4.2	3.6	6.7	1.8	1.8	1.2	-	-	12.1	7.9
女性 60歳～69歳	137	75.9	27.7	12.4	15.3	1.5	0.7	5.1	11.7	2.2	-	1.5	-	-	6.6	8.8

未・既婚別にみると、「新聞、フリーペーパー（新聞の折込を含む）、雑誌で見た」は“結婚している（事実婚を含む）”が21.1%と、“結婚していない”より5.1ポイント高く、「学校で教わった」は“結婚していない”が10.5%と、“結婚している（事実婚を含む）”より5.6ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「学校で教わった」は“子供がいない”が10.6%と、“子供がいる”より6.3ポイント高く、「ホームページや、フェイスブック、ツイッター等のインターネットにより知った」は“子供がいない”が9.9%と、“子供がいる”より4.8ポイント高くなっている。

職業別にみると、「テレビやラジオにより知った」は主婦・主夫が80.2%と高くなっている。「新聞、フリーペーパー（新聞の折込を含む）、雑誌で見た」は無職が27.5%、自営業（農林漁業、商工業等）が23.3%と高くなっている。「知人、友人等から聞いた」は自営業（農林漁業、商工業等）が18.6%と高く、「学校で教わった」は学生が34.6%と高くなっている。（図2-3）

図2-3 里親制度を知ったきっかけ ー未・既婚別、子供の有無別、職業別

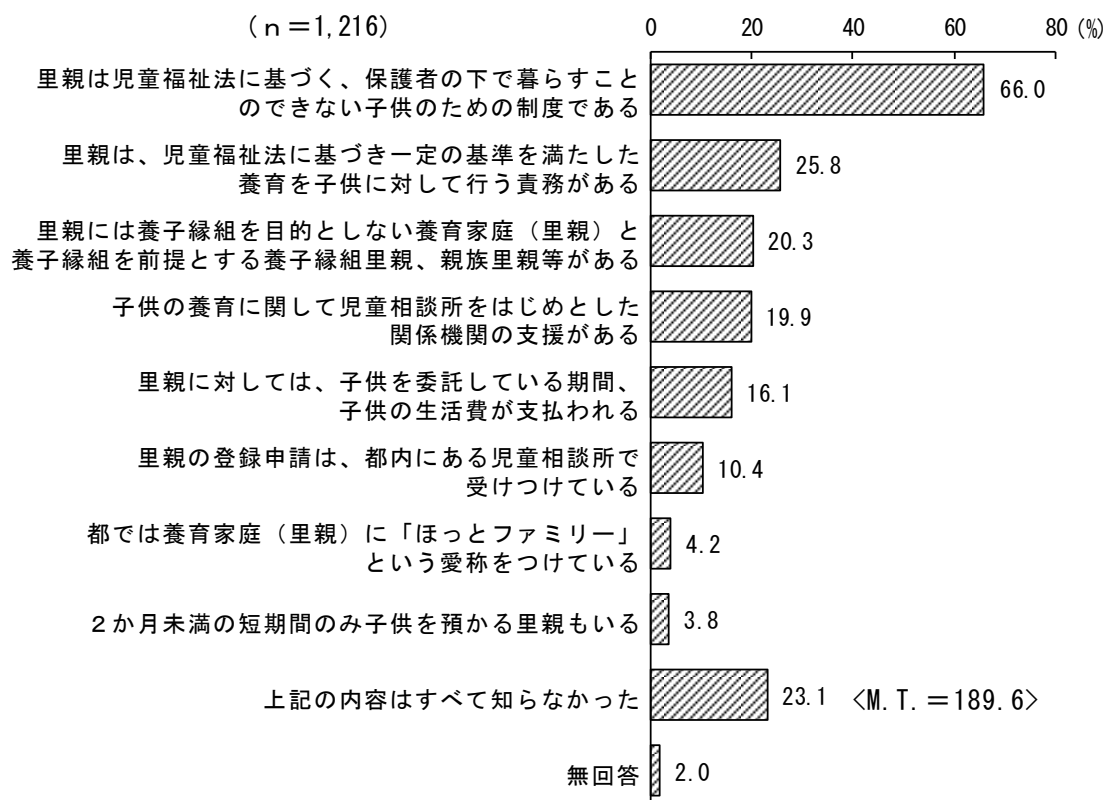
	n	テレビやラジオにより知った	新聞、フリーペーパー（新聞の折込を含む）、雑誌で見た	知人、友人等から聞いた	都や区市町村の広報紙で見た	ホームページや、フェイスブック、ツイッター等のインターネットにより知った	学校で教わった	図書館、病院、公共施設等で掲示されているポスターを見た	地域や知人等で里親をしている（していた）人がいる	医療機関に配架されたパンフレット等を見た	保育園や学校で配布されたパンフレット等を見た	イベントやシンポジウム等で聞いた	駅や街頭、その他の場所で配布されたパンフレット等を見た	駅や街路のデジタルサイネージ（電子看板）で見た	その他	無回答
全体	1,216	72.1	19.3	9.9	8.2	6.8	6.6	6.2	6.0	1.9	1.7	1.6	1.3	0.7	7.3	6.6
<未・既婚別>																
結婚している（事実婚を含む）	824	72.7	21.1	10.4	9.1	6.4	4.9	5.6	6.6	2.1	1.8	1.5	1.2	0.4	6.3	6.4
結婚していない	381	71.1	16.0	8.9	6.6	7.9	10.5	7.6	5.0	1.6	1.6	1.8	1.3	1.6	9.2	6.6
<子供の有無別>																
子供がいる	764	72.6	20.5	9.4	9.3	5.1	4.3	6.2	6.3	1.8	2.1	1.4	1.3	0.4	7.7	7.2
子供がいない	443	71.1	17.6	10.8	6.5	9.9	10.6	6.3	5.6	2.0	1.1	1.8	1.1	1.4	6.8	5.4
<職業別>																
勤め人（パートタイム等も含む）	835	72.6	18.2	9.2	7.5	7.8	6.9	6.5	5.3	1.7	2.2	1.8	1.1	1.1	6.9	6.6
自営業（農林漁業、商工業等）	86	67.4	23.3	18.6	8.1	4.7	7.0	3.5	8.1	1.2	-	1.2	-	-	4.7	4.7
主婦・主夫	167	80.2	21.0	7.8	12.0	3.0	3.6	7.2	7.2	3.0	0.6	1.8	0.6	-	9.6	7.2
学生	26	73.1	3.8	7.7	-	-	34.6	3.8	3.8	3.8	3.8	-	-	-	11.5	3.8
無職	80	60.0	27.5	11.3	8.8	10.0	-	5.0	10.0	2.5	1.3	-	5.0	-	8.8	7.5
その他	13	38.5	38.5	23.1	23.1	-	7.7	7.7	7.7	-	-	-	7.7	-	7.7	7.7

3 里親制度について知っていたこと

図3-1

問1-2. (問1で「1 言葉も内容も知っていた」「2 言葉は聞いたことはあったが、制度の内容は詳しく知らなかった」とお答えの方に向かって)

「里親制度」について知っていたことを選んでください。(複数回答可)



里親制度の言葉を知っていたと答えた人(1,216人)に里親制度について知っていたことを聞いたところ、「里親は児童福祉法に基づく、保護者の下で暮らすことのできない子供のための制度である」の割合が66.0%と最も高く、次いで「里親は、児童福祉法に基づき一定の基準を満たした養育を子供に対して行う責務がある」が25.8%、「里親には養子縁組を目的としない養育家庭(里親)と養子縁組を前提とする養子縁組里親、親族里親等がある」が20.3%、「子供の養育に関して児童相談所をはじめとした関係機関の支援がある」が19.9%、「里親に対しては、子供を委託している期間、子供の生活費が支払われる」が16.1%などの順となっている。(図3-1)

地域別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「里親には養子縁組を目的としない養育家庭（里親）と養子縁組を前提とする養子縁組里親、親族里親等がある」は60歳～69歳が24.9%とやや高くなっている。

性別にみると、「里親は児童福祉法に基づく、保護者の下で暮らすことのできない子供のための制度である」は女性が71.5%と、男性より13.6ポイント高く、「里親は、児童福祉法に基づき一定の基準を満たした養育を子供に対して行う責務がある」は女性が30.3%と、男性より10.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「里親は児童福祉法に基づく、保護者の下で暮らすことのできない子供のための制度である」は女性30歳～39歳が75.5%、女性60歳～69歳が75.2%と高く、「里親は、児童福祉法に基づき一定の基準を満たした養育を子供に対して行う責務がある」は女性50歳～59歳が33.3%、女性30歳～39歳が32.0%と高くなっている。（図3-2）

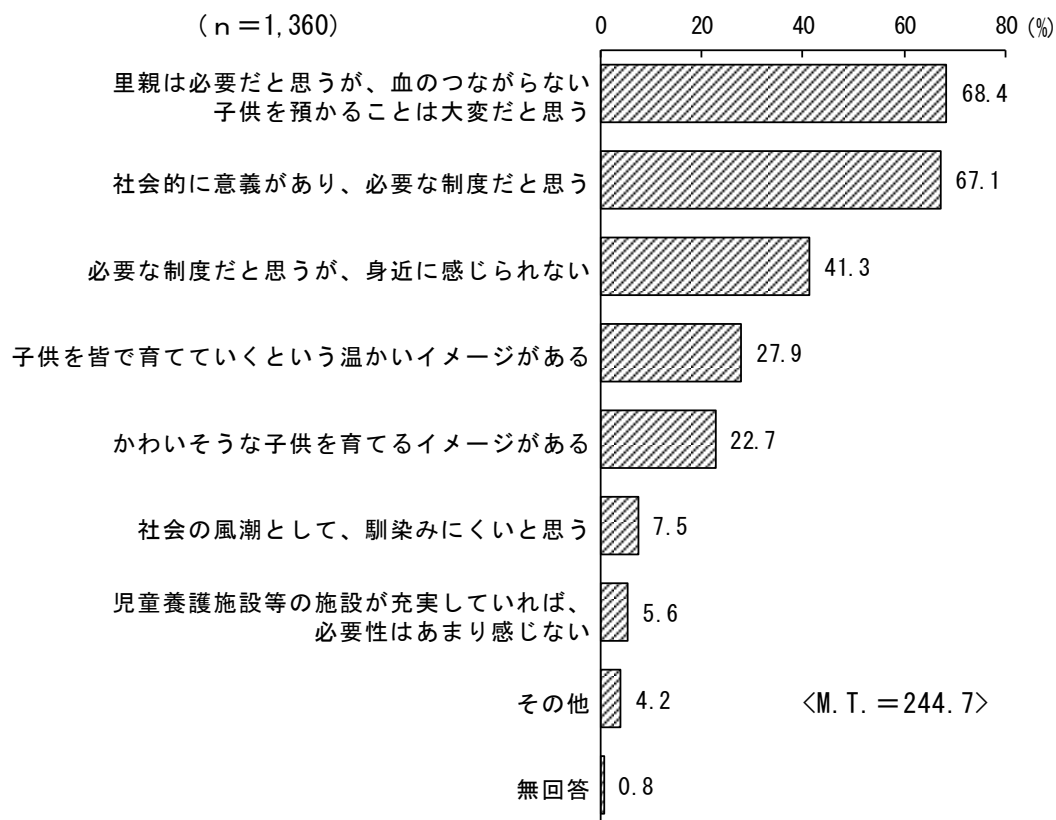
図3-2 里親制度について知っていたこと 一地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	の下の里親は児童福祉法に基 づき、子供保護者の 制度で暮らすこと である	責務が満たした児童 福祉法に基づき一 定の基	養子縁組里親、親 族里親等がある	家庭には養子縁組 を目的としない養 育	め子供の養育に関 係して児童相談所 を は	期里親に対しては、 生活費が支払われ て い	談里親の登録申請 は、都内にある児 童 相	ミ都府県という愛 称をつけている	里2か月未満の短 期間のみ子供を預 か る	上 記 の 内 容 は す べ て 知 ら な か つ た	無 回 答
全 体	1,216	66.0	25.8	20.3	19.9	16.1	10.4	4.2	3.8	23.1	2.0	
<地域別>												
区 部	818	66.3	26.9	19.9	20.2	15.3	10.4	3.7	3.2	22.7	1.8	
市 部	388	66.2	23.5	20.6	19.1	17.8	10.3	5.2	5.2	23.7	2.1	
町村部	10	40.0	30.0	40.0	30.0	20.0	10.0	10.0	-	30.0	10.0	
<年齢別>												
20歳～29歳	130	66.2	27.7	16.9	25.4	13.1	10.0	3.1	3.8	17.7	2.3	
30歳～39歳	238	66.8	24.4	21.0	20.6	13.4	12.6	2.5	5.9	25.2	0.8	
40歳～49歳	308	63.0	25.6	17.9	20.8	16.9	9.7	2.9	3.2	25.3	1.0	
50歳～59歳	280	67.1	28.2	20.4	17.5	17.9	10.4	5.7	3.6	21.4	2.9	
60歳～69歳	253	68.0	24.5	24.9	18.6	17.8	9.1	6.3	2.8	22.9	3.2	
<性別>												
男 性	484	57.9	19.4	17.1	16.9	12.4	10.7	2.1	2.3	31.4	2.3	
女 性	723	71.5	30.3	22.5	21.9	18.8	10.1	5.7	4.8	17.6	1.8	
<性・年齢別>												
男性 20歳～29歳	51	58.8	23.5	15.7	25.5	7.8	13.7	3.9	5.9	23.5	3.9	
男性 30歳～39歳	91	52.7	12.1	17.6	19.8	12.1	11.0	-	3.3	38.5	1.1	
男性 40歳～49歳	112	56.3	19.6	13.4	13.4	14.3	8.9	1.8	1.8	30.4	0.9	
男性 50歳～59歳	114	61.4	20.2	13.2	16.7	12.3	14.0	2.6	0.9	28.9	3.5	
男性 60歳～69歳	116	59.5	22.4	25.0	14.7	12.9	7.8	2.6	1.7	32.8	2.6	
女性 20歳～29歳	79	70.9	30.4	17.7	25.3	16.5	7.6	2.5	2.5	13.9	1.3	
女性 30歳～39歳	147	75.5	32.0	23.1	21.1	14.3	13.6	4.1	7.5	17.0	0.7	
女性 40歳～49歳	195	66.7	29.2	20.5	24.6	18.5	10.3	3.6	4.1	22.6	1.0	
女性 50歳～59歳	165	70.9	33.3	24.8	17.6	21.8	7.9	7.9	5.5	16.4	2.4	
女性 60歳～69歳	137	75.2	26.3	24.8	21.9	21.9	10.2	9.5	3.6	14.6	3.6	

4 里親の印象

図 4-1

問 2. あなたは「里親」について、どのような印象を持っていますか。(複数回答可)



里親についてどのような印象を持っているか聞いたところ、「里親は必要だと思うが、血のつながらない子供を預かることは大変だと思う」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「社会的に意義があり、必要な制度だと思う」が 67.1%、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」が 41.3%、「子供を皆で育てていくという温かいイメージがある」が 27.9%、「かわいそうな子供を育てるイメージがある」が 22.7%などの順となっている。(図 4-1)

地域別にみると、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」は市部が 46.8%と高くなっている。

年齢別にみると、「社会的に意義があり、必要な制度だと思う」は 30 歳～39 歳が 73.2%と高く、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」は 20 歳～29 歳が 53.0%、30 歳～39 歳が 48.2%と高くなっている。

性別にみると、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」は男性が 44.8%と、女性より 6.4 ポイント高く、「かわいそうな子供を育てるイメージがある」は男性が 25.4%と、女性より 4.6 ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「社会的に意義があり、必要な制度だと思う」は女性 30 歳～39 歳が 78.6%と高く、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」は男性 20 歳～29 歳が 58.1%、男性 30 歳～39 歳が 54.4%、男性 40 歳～49 歳が 52.1%と高くなっている。「かわいそうな子供を育てるイメージがある」は男性 40 歳～49 歳が 30.7%と高くなっている。(図 4-2)

図 4-2 里親の印象 —地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	るの こと は大 変だ と思 う 預 か	里 親 は 必 要 だ と 思 う が 、 血	社 会 的 に 意 義 が あ り 、 必 要	近 に 必 要 な 制 度 だ と 思 う が 、 身	子 供 を 皆 で イ メ ー ジ が あ る と い	か わ い そ う な 子 供 を 育 て る	に 社 会 の 風 潮 と し て 、 馴 染 み	ま 実 児 童 養 護 施 設 等 の 施 設 が 充 ま り 感 じ な い ば 、 必 要 性 は あ	そ の 他	無 回 答
全 体	1,360	68.4	67.1	41.3	27.9	22.7	7.5	5.6	4.2	0.8	
<地域別>											
区 部	913	68.2	67.4	38.4	29.8	23.2	7.7	5.4	4.4	1.1	
市 部	436	69.3	66.7	46.8	24.1	21.3	7.1	6.2	3.9	0.2	
町村部	11	45.5	63.6	54.5	27.3	36.4	9.1	-	-	-	
<年齢別>											
20歳～29歳	151	64.2	68.2	53.0	31.8	23.2	11.9	6.6	5.3	-	
30歳～39歳	257	65.4	73.2	48.2	23.3	21.8	8.9	3.5	4.7	0.4	
40歳～49歳	347	69.2	71.2	45.2	28.8	23.6	6.6	4.9	6.6	0.3	
50歳～59歳	314	69.4	59.6	34.4	32.2	24.5	6.7	6.1	1.3	1.6	
60歳～69歳	284	71.5	65.1	31.3	24.3	20.8	5.6	7.0	2.8	1.4	
<性別>											
男 性	578	68.5	66.3	44.8	26.6	25.4	7.1	6.4	2.9	0.7	
女 性	773	68.4	67.9	38.4	29.0	20.8	7.8	4.9	4.9	0.9	
<性・年齢別>											
男性 20歳～29歳	62	66.1	66.1	58.1	27.4	22.6	11.3	6.5	4.8	-	
男性 30歳～39歳	103	67.0	65.0	54.4	16.5	26.2	9.7	5.8	5.8	1.0	
男性 40歳～49歳	140	71.4	72.1	52.1	28.6	30.7	7.9	4.3	5.0	-	
男性 50歳～59歳	141	67.4	62.4	34.0	32.6	22.7	6.4	7.1	-	2.1	
男性 60歳～69歳	132	68.9	65.2	34.8	25.8	23.5	3.0	8.3	0.8	-	
女性 20歳～29歳	89	62.9	69.7	49.4	34.8	23.6	12.4	6.7	5.6	-	
女性 30歳～39歳	154	64.3	78.6	44.2	27.9	18.8	8.4	1.9	3.9	-	
女性 40歳～49歳	206	67.5	70.4	40.3	29.1	18.4	5.8	5.3	7.8	0.5	
女性 50歳～59歳	172	71.5	57.0	34.3	32.0	26.2	7.0	5.2	2.3	1.2	
女性 60歳～69歳	152	73.7	65.1	28.3	23.0	18.4	7.9	5.9	4.6	2.6	

未・既婚別にみると、「里親は必要だと思うが、血のつながらない子供を預かることは大変だと思う」は“結婚している（事実婚を含む）”が71.2%と、“結婚していない”より8.6ポイント高く、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」は“結婚していない”が46.0%と、“結婚している（事実婚を含む）”より7.0ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「里親は必要だと思うが、血のつながらない子供を預かることは大変だと思う」は“子供がいる”が71.5%と、“子供がいない”より7.9ポイント高く、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」は“子供がいない”が47.1%と、“子供がいる”より9.6ポイント高くなっている。

職業別にみると、「必要な制度だと思うが、身近に感じられない」は学生が58.6%と高く、「社会の風潮として、馴染みにくいと思う」は学生が20.7%と高くなっている。（図4-3）

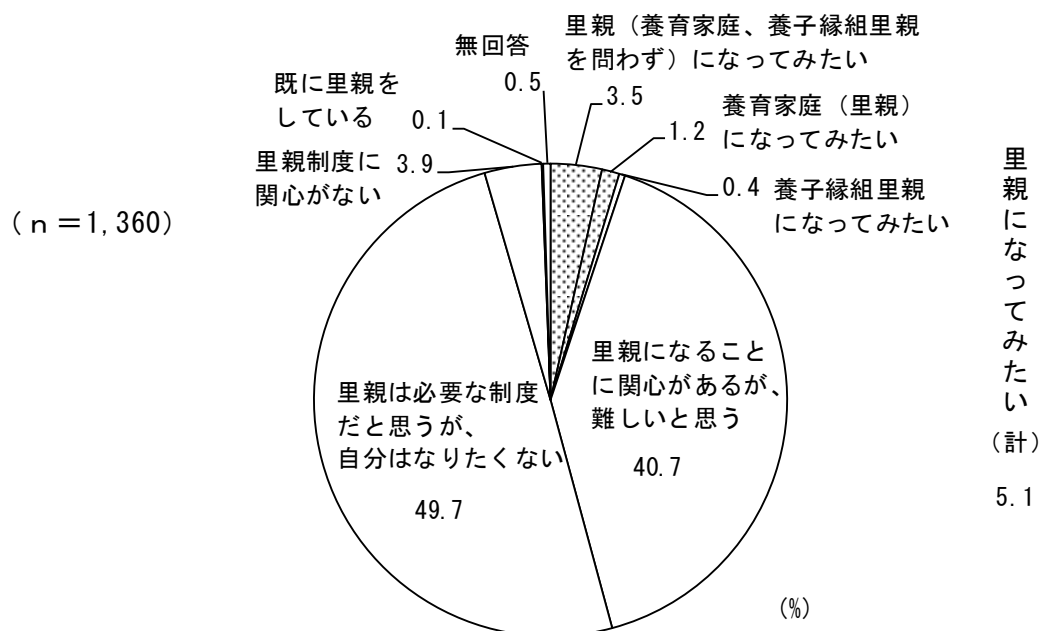
図4-3 里親の印象 ー未・既婚別、子供の有無別、職業別

	n	るのり こつ親 とはが 大変だ と思 うか 血	な社 制会 度的 だに と思 うが 意 義 が あ り、 必 要	近 に 必 要 な 制 度 だ と 思 う が、 身	う子 温 か い 皆 で 育 て て い く と い	イ か わ い そ う な 子 供 を 育 て る	に社 会 の 風 潮 と し て、 馴 染 み	ま り 実 感 じ な い ば、 必 要 性 は 充	児 童 養 護 施 設 等 の 施 設 が	そ の 他	無 回 答
全 体	1,360	68.4	67.1	41.3	27.9	22.7	7.5	5.6	4.2	0.8	
<未・既婚別>											
結婚している （事実婚を含む）	910	71.2	67.5	39.0	27.3	23.1	7.0	5.3	4.2	0.8	
結婚していない	439	62.6	67.2	46.0	29.2	22.6	8.2	5.9	3.6	0.9	
<子供の有無別>											
子供がいる	847	71.5	67.1	37.5	26.8	22.6	7.1	5.3	4.0	0.9	
子供がいない	503	63.6	67.8	47.1	29.8	23.3	8.2	5.8	4.2	0.6	
<職業別>											
勤め人（パート タイム等も含む）	939	67.5	67.1	43.1	29.0	23.2	6.6	6.1	3.6	0.6	
自営業（農林 漁業、商工業等）	101	67.3	66.3	32.7	28.7	18.8	7.9	4.0	2.0	3.0	
主婦・主夫	180	73.9	70.0	37.8	23.9	21.1	10.0	3.9	5.6	1.1	
学生	29	72.4	69.0	58.6	27.6	31.0	20.7	-	6.9	-	
無職	86	65.1	61.6	33.7	23.3	24.4	8.1	8.1	7.0	-	
その他	16	81.3	81.3	31.3	31.3	25.0	-	-	6.3	-	

5 里親への関心

図5-1

問3. あなたご自身は里親になってみたい気持ちはありますか。(1つを選択)



(注) 『里親になってみたい (計)』は「里親(養育家庭、養子縁組里親を問わず)になってみたい」「養育家庭(里親)になってみたい」「養子縁組里親になってみたい」の合計

里親になってみたい気持ちはあるか聞いたところ、「里親(養育家庭、養子縁組里親を問わず)になってみたい」が3.5%、「養育家庭(里親)になってみたい」が1.2%、「養子縁組里親になってみたい」が0.4%で、この3項目を合わせた『里親になってみたい(計)』の割合が5.1%となっている。なお、「里親は必要な制度だと思うが、自分になりたくない」の割合が49.7%と最も高く、次いで「里親になることに関心があるが、難しいと思う」が40.7%となっている。(図5-1)

地域別にみると、「里親（養育家庭、養子縁組里親を問わず）になってみたい」は町村部が 18.2%と高くなっている。

年齢別にみると、「里親（養育家庭、養子縁組里親を問わず）になってみたい」、「養育家庭（里親）になってみたい」、「養子縁組里親になってみたい」の3項目を合わせた『里親になってみたい（計）』は20歳～29歳が7.9%、30歳～39歳が7.4%とやや高くなっている。「里親は必要な制度だと思うが、自分はなりたくない」は60歳～69歳が60.2%と高くなっている。

性別にみると、大きな差はみられない。（図5-2）

図5-2 里親への関心 —地域別、年齢別、性別

	里親になって みたい（計）	里親になること に関心があるが、 難しいと思う	里親は必要な制度だと思うが、 自分はなりたくない	里親制度に関心がない	既に里親を している	無回答				
						(A)	(B)	(C)		
全体 (1,360)	5.1	40.7	49.7	3.9	0.1	0.5	3.5	1.2	0.4	
【地域別】										
区部 (913)	5.5	41.0	49.1	3.7	0.1	0.7	3.6	1.3	0.5	
市部 (436)	3.9	40.4	51.4	4.1	0	0.2	2.8	0.9	0.2	
町村部 (11)	18.2	36.4	36.4	9.1	0	0	18.2	0	0	
【年齢別】										
20歳～29歳 (151)	7.9	40.4	48.3	3.3	0	0	5.3	1.3	1.3	
30歳～39歳 (257)	7.4	44.4	44.4	3.9	0	0	6.6	0.8	0	
40歳～49歳 (347)	5.5	45.5	45.5	3.5	0	0	3.2	1.7	0.6	
50歳～59歳 (314)	3.5	41.1	49.4	4.8	0.3	1.0	2.2	1.3	0	
60歳～69歳 (284)	2.8	31.7	60.2	3.9	0	1.4	1.4	0.7	0.7	
【性別】										
男性 (578)	4.8	39.6	50.7	4.5	0	0.3	2.8	1.6	0.5	
女性 (773)	5.3	41.8	48.6	3.5	0.1	0.6	4.0	0.9	0.4	

※(A)は「里親（養育家庭、養子縁組里親を問わず）になってみたい」、(B)は「養育家庭（里親）になってみたい」、(C)は「養子縁組里親になってみたい」

性・年齢別にみると、『里親になってみたい（計）』は女性 30 歳～39 歳が 9.7%、女性 20 歳～29 歳が 9.0%と高くなっている。「里親になることに興味があるが、難しいと思う」は女性 30 歳～39 歳が 48.7%、女性 40 歳～49 歳が 46.6%と高く、「里親は必要な制度だと思うが、自分はなりたくない」は女性 60 歳～69 歳が 63.8%と高くなっている。（図 5－3）

図 5－3 里親への関心 一性・年齢別

	里親になってみたい（計）	里親になることに興味があるが、難しいと思う	里親は必要な制度だと思うが、自分はなりたくない	里親制度に関心がない	既に里親をしている	無回答				
							(A)	(B)	(C)	
全体 (1,360)	5.1	40.7	49.7	3.9	0.1	0.5	3.5	1.2	0.4	
【男性】										
20歳～29歳 (62)	6.5	40.3	48.4	4.8	0	0	6.5	0	0	
30歳～39歳 (103)	3.9	37.9	50.5	7.8	0	0	3.9	0	0	
40歳～49歳 (140)	5.7	44.3	49.3	0.7	0	0	2.1	2.9	0.7	
50歳～59歳 (141)	4.3	41.1	48.2	5.0	0	1.4	1.4	2.8	0	
60歳～69歳 (132)	4.5	34.1	56.1	5.3	0	0	2.3	0.8	1.5	
【女性】										
20歳～29歳 (89)	9.0	40.4	48.3	2.2	0	0	4.5	2.2	2.2	
30歳～39歳 (154)	9.7	48.7	40.3	1.3	0	0	8.4	1.3	0	
40歳～49歳 (206)	5.3	46.6	42.7	5.3	0	0	3.9	1.0	0.5	
50歳～59歳 (172)	2.9	41.3	50.0	4.7	0.6	0.6	2.9	0	0	
60歳～69歳 (152)	1.3	29.6	63.8	2.6	0	2.6	0.7	0.7	0	

※(A)は「里親（養育家庭、養子縁組里親を問わず）になってみたい」、(B)は「養育家庭（里親）になってみたい」、(C)は「養子縁組里親になってみたい」

未・既婚別にみると、「里親（養育家庭、養子縁組里親を問わず）になってみたい」、「養育家庭（里親）になってみたい」、「養子縁組里親になってみたい」の3項目を合わせた『里親になってみたい（計）』は“結婚していない”が7.5%と、“結婚している（事実婚を含む）”より3.7ポイント高くなっている。「里親は必要な制度だと思うが、自分はなりたくない」は“結婚している（事実婚を含む）”が50.9%と、“結婚していない”より4.0ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、『里親になってみたい（計）』は“子供がいない”が8.2%と、“子供がいる”より4.9ポイント高くなっている。「里親になることに関心があるが、難しいと思う」は“子供がいる”が42.6%と、“子供がいない”より4.8ポイント高くなっている。

職業別にみると、『里親になってみたい（計）』は学生が13.8%と高くなっている。「里親は必要な制度だと思うが、自分はなりたくない」は主婦・主夫が57.8%と高くなっている。（図5-4）

図5-4 里親への関心 — 未・既婚別、子供の有無別、職業別

	里親になってみたい（計）	里親になることに関心があるが、難しいと思う	里親は必要な制度だと思うが、自分はなりたくない	里親制度に関心がない	既に里親をしている	無回答				
						(A)	(B)	(C)		
全体 (1,360)	5.1	40.7	49.7	3.9	0.1	0.5	3.5	1.2	0.4	
【未・既婚別】										
結婚している（事実婚を含む） (910)	3.8	41.8	50.9	3.1	0.1	0.3	2.3	1.3	0.2	
結婚していない (439)	7.5	39.0	46.9	5.7	0	0.9	5.9	0.9	0.7	
【子供の有無別】										
子供がいる (847)	3.3	42.6	50.6	2.7	0.1	0.6	1.9	1.3	0.1	
子供がいない (503)	8.2	37.8	48.1	5.6	0	0.4	6.2	1.0	1.0	
【職業別】										
勤め人（パートタイム等も含む） (939)	5.5	41.5	48.7	3.9	0.1	0.2	3.9	1.2	0.4	
自営業（農林漁業、商工業等） (101)	4.0	44.6	44.6	4.0	0	3.0	3.0	1.0	0	
主婦・主夫 (180)	1.7	37.2	57.8	2.8	0	0.6	0	1.7	0	
学生 (29)	13.8	34.5	51.7	0	0	0	13.8	0	0	
無職 (86)	2.3	39.5	50.0	8.1	0	0	1.2	0	1.2	
その他 (16)	25.0	31.3	37.5	0	0	6.3	12.5	6.3	6.3	

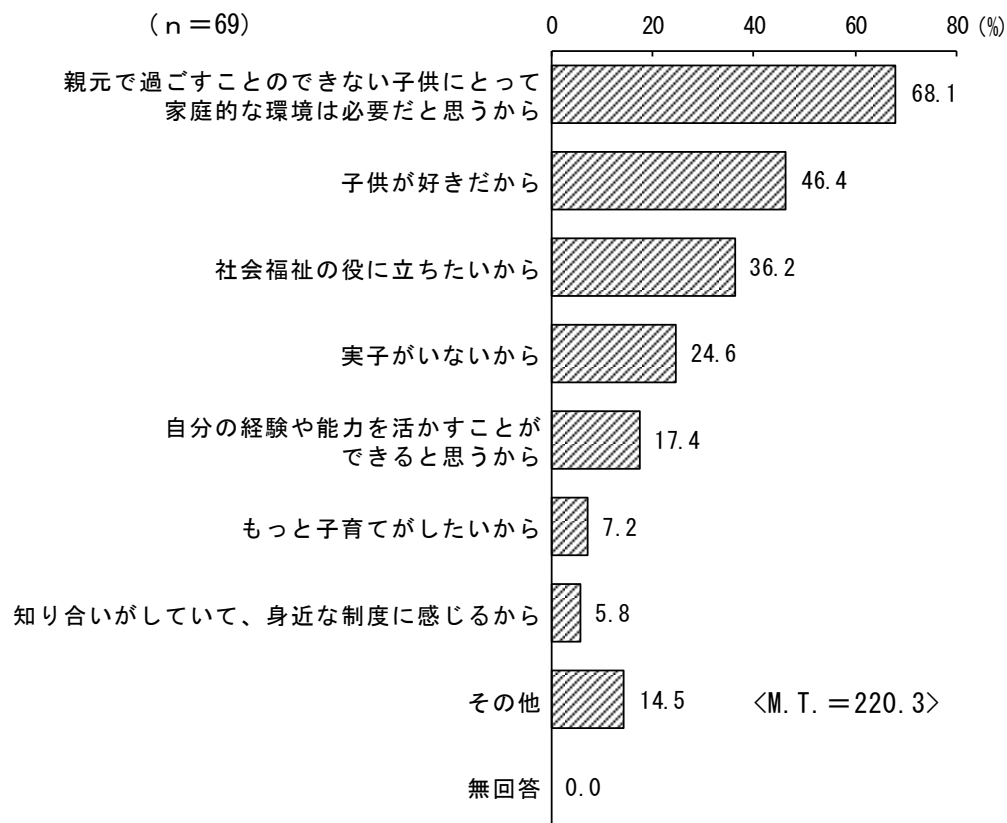
※(A)は「里親（養育家庭、養子縁組里親を問わず）になってみたい」、(B)は「養育家庭（里親）になってみたい」、(C)は「養子縁組里親になってみたい」

6 里親になってみたい理由

図6-1

問3-1. (問3で1、2、3のいずれかとお答えの方にかがいます)

あなたが里親になってみたい理由は何ですか。(複数回答可)



里親になってみたいと答えた人(69人)にその理由を聞いたところ、「親元で過ごすことのできない子供にとって家庭的な環境は必要だと思うから」の割合が68.1%と最も高く、次いで「子供が好きだから」が46.4%、「社会福祉の役に立ちたいから」が36.2%、「実子がないから」が24.6%、「自分の経験や能力を活かすことができると思うから」が17.4%などの順となっている。(図6-1)

年齢別にみると、「子供が好きだから」は50歳～59歳が81.8%と高く、「社会福祉の役に立ちたいから」は60歳～69歳が62.5%と高くなっている。「知り合いがしていて、身近な制度に感じるから」は60歳～69歳が25.0%と高くなっている。

性別にみると、「自分の経験や能力を活かすことができると思うから」は女性が26.8%と、男性より23.2ポイント高く、「実子がないから」は女性が29.3%と、男性より11.4ポイント高くなっている。「社会福祉の役に立ちたいから」は男性が42.9%と、女性より11.2ポイント高くなっている。

(図6-2)

図6-2 里親になってみたい理由 —地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	境い親は子供に必要だと感じるから	子供が好きだから	ら社会福祉の役に立ちたいから	実子がないから	こと自分の経験や能力を活かすことができると思うから	もつと子育てがしたいから	な知り合いがいて、身近な制度に感じるから	その他	無回答
全体	69	68.1	46.4	36.2	24.6	17.4	7.2	5.8	14.5	-
<地域別>										
区部	50	70.0	44.0	32.0	24.0	20.0	6.0	6.0	18.0	-
市部	17	64.7	52.9	52.9	23.5	11.8	11.8	5.9	5.9	-
町村部	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
<年齢別>										
20歳～29歳	12	75.0	25.0	33.3	8.3	8.3	-	-	16.7	-
30歳～39歳	19	63.2	36.8	26.3	36.8	21.1	10.5	10.5	15.8	-
40歳～49歳	19	73.7	42.1	31.6	26.3	26.3	5.3	-	21.1	-
50歳～59歳	11	54.5	81.8	45.5	9.1	-	18.2	-	-	-
60歳～69歳	8	75.0	62.5	62.5	37.5	25.0	-	25.0	12.5	-
<性別>										
男性	28	64.3	42.9	42.9	17.9	3.6	3.6	3.6	10.7	-
女性	41	70.7	48.8	31.7	29.3	26.8	9.8	7.3	17.1	-
<性・年齢別>										
男性 20歳～29歳	4	75.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-
男性 30歳～39歳	4	50.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-
男性 40歳～49歳	8	75.0	37.5	50.0	25.0	12.5	-	-	25.0	-
男性 50歳～59歳	6	50.0	66.7	33.3	-	-	16.7	-	-	-
男性 60歳～69歳	6	66.7	50.0	66.7	33.3	-	-	16.7	-	-
女性 20歳～29歳	8	75.0	25.0	25.0	-	12.5	-	-	25.0	-
女性 30歳～39歳	15	66.7	40.0	33.3	46.7	26.7	13.3	13.3	13.3	-
女性 40歳～49歳	11	72.7	45.5	18.2	27.3	36.4	9.1	-	18.2	-
女性 50歳～59歳	5	60.0	100.0	60.0	20.0	-	20.0	-	-	-
女性 60歳～69歳	2	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	-	50.0	50.0	-

未・既婚別にみると、「子供が好きだから」は“結婚している（事実婚を含む）”が54.3%と、“結婚していない”より14.9ポイント高く、「社会福祉の役に立ちたいから」は“結婚している（事実婚を含む）”が42.9%と、“結婚していない”より15.6ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「実子がないから」は“子供がない”が41.5%と、“子供がいる”より41.5ポイント高く、「社会福祉の役に立ちたいから」は“子供がいる”が50.0%と、“子供がない”より23.2ポイント高くなっている。（図6-3）

図6-3 里親になってみたい理由 ー未・既婚別、子供の有無別、職業別

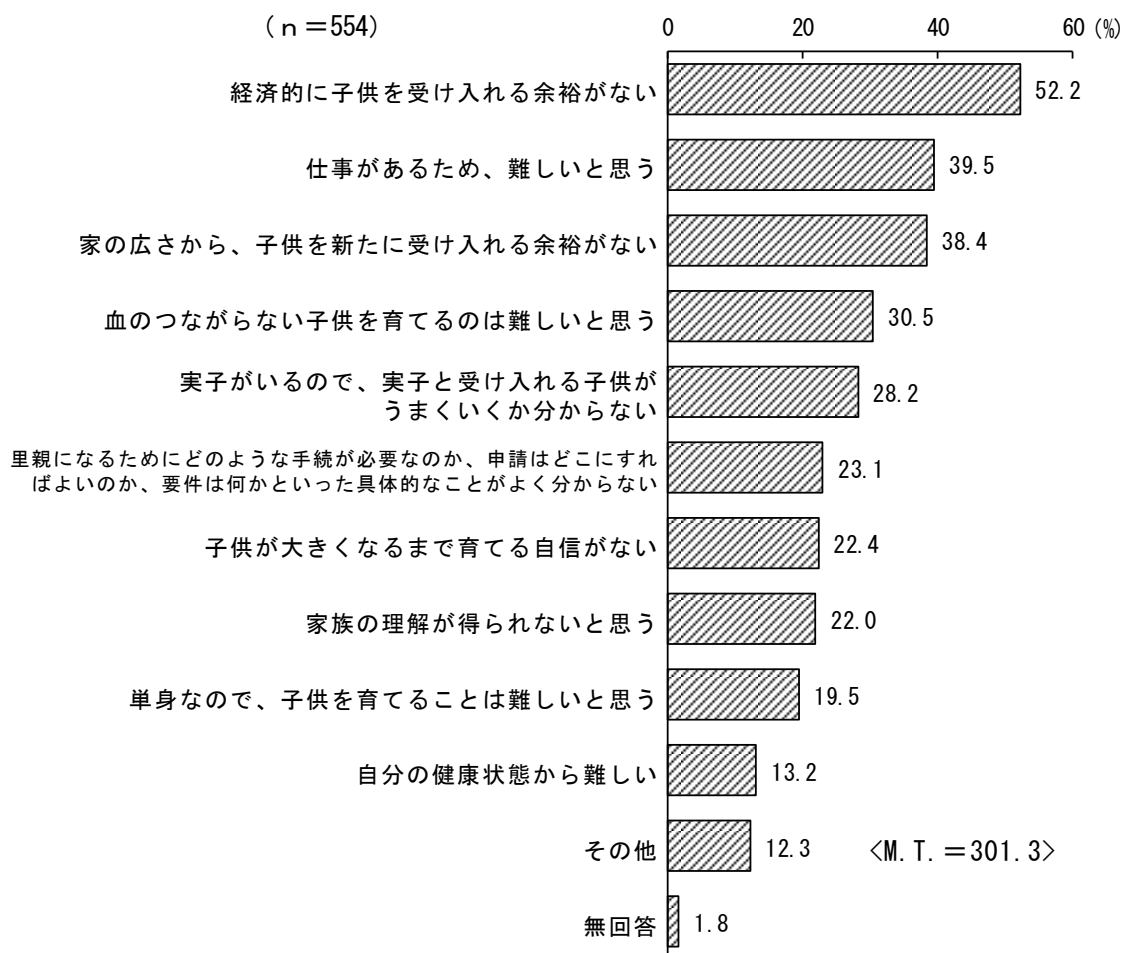
	n	境 は 必 要 だ と 思 う か ら	親 元 に 過 ご す こ と の 家 庭 的 な 環 境	子 供 が 好 き だ か ら	ら 社 会 福 祉 の 役 に 立 ち た い か	実 子 が い な い か ら	こ と が 自 分 の 経 験 や 能 力 を 活 か す と 思 う か ら	も っ と 子 育 て が し た い か ら	な 知 り 合 い が し て い て 、 身 近 な 制 度 に 感 じ る か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	69	68.1	46.4	36.2	24.6	17.4	7.2	5.8	14.5	-	
<未・既婚別>											
結婚している （事実婚を含む）	35	71.4	54.3	42.9	22.9	14.3	11.4	8.6	11.4	-	
結婚していない	33	63.6	39.4	27.3	27.3	21.2	3.0	3.0	18.2	-	
<子供の有無別>											
子供がいる	28	67.9	53.6	50.0	-	14.3	14.3	-	7.1	-	
子供がない	41	68.3	41.5	26.8	41.5	19.5	2.4	9.8	19.5	-	
<職業別>											
勤め人（パート タイム等も含む）	52	67.3	48.1	34.6	26.9	19.2	7.7	3.8	17.3	-	
自営業（農林 漁業、商工業等）	4	75.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	
主婦・主夫	3	66.7	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	
学生	4	75.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	
無職	2	100.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	
その他	4	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	-	25.0	25.0	-	

7 里親への登録を希望する際の課題

図7-1

問3-2. (問3で「4 里親になることに関心があるが、難しいと思う」とお答えの方にうかがいます)

里親になりたい気持ちがあっても、里親への登録を希望する際に何が課題になると思いますか。(複数回答可)



里親になることに関心があるが、難しいと思うと答えた人(554人)に里親への登録を希望する際の課題を聞いたところ、「経済的に子供を受け入れる余裕がない」の割合が52.2%と最も高く、次いで「仕事があるため、難しいと思う」が39.5%、「家の広さから、子供を新たに受け入れる余裕がない」が38.4%、「血のつながらない子供を育てるのは難しいと思う」が30.5%、「実子がいるので、実子と受け入れる子供がうまくいくか分からない」が28.2%などの順となっている。(図7-1)

地域別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「経済的に子供を受け入れる余裕がない」は20歳～29歳が62.3%と高く、「仕事があるため、難しいと思う」は50歳～59歳が51.2%と高くなっている。「実子がいるので、実子と受け入れる子供がうまくいくか分からない」は40歳～49歳が43.7%、30歳～39歳が37.7%と高く、「里親になるためにどのような手続が必要なのか、申請はどこにすればよいのか、要件は何かといった具体的なことがよく分からない」は20歳～29歳が49.2%と高くなっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「仕事があるため、難しいと思う」は女性50歳～59歳が53.5%と高く、「実子がいるので、実子と受け入れる子供がうまくいくか分からない」は男性40歳～49歳が48.4%、女性30歳～39歳が41.3%、女性40歳～49歳が40.6%と高くなっている。「里親になるためにどのような手続が必要なのか、申請はどこにすればよいのか、要件は何かといった具体的なことがよく分からない」は女性20歳～29歳が50.0%、男性20歳～29歳が48.0%と高くなっている。(図7-2)

図7-2 里親への登録を希望する際の課題 ー地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	な 経 済 的 に 子 供 を 受 け 入 れ る 余 裕 が	仕 事 が あ る た め 、 難 し い と 思 う	入 家 の 広 さ か ら 、 子 供 を 新 た に 受 け	は 血 の つ な が ら な い 子 供 を 育 て る の	る 実 子 が い る の で 、 実 子 と か 受 け 入 れ	具 体 的 な こ と が よ く 分 か ら な い	が 里 親 に な る た め に ど の よ う な 手 続	が 子 供 が 大 き く な る ま で 育 て る 自 信	家 族 の 理 解 が 得 ら れ な い と 思 う	難 し い と 思 う	自 分 の 健 康 状 態 か ら 難 し い	そ の 他	(%) 無 回 答
全 体	554	52.2	39.5	38.4	30.5	28.2	23.1	22.4	22.0	19.5	13.2	12.3	1.8	
<地域別>														
区 部	374	51.9	40.9	40.1	29.9	27.8	22.2	22.7	20.1	24.3	12.0	12.6	1.9	
市 部	176	51.7	36.9	34.1	31.3	28.4	25.6	21.6	25.6	9.1	15.9	11.9	1.7	
町村部	4	100.0	25.0	75.0	50.0	50.0	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-	
<年齢別>														
20歳～29歳	61	62.3	39.3	24.6	27.9	11.5	49.2	19.7	8.2	29.5	4.9	6.6	3.3	
30歳～39歳	114	57.0	37.7	37.7	33.3	37.7	28.1	13.2	22.8	11.4	7.0	11.4	-	
40歳～49歳	158	56.3	39.2	46.2	27.8	43.7	20.3	15.8	24.7	22.2	9.5	12.7	1.3	
50歳～59歳	129	48.1	51.2	38.8	30.2	16.3	18.6	30.2	25.6	21.7	15.5	12.4	3.9	
60歳～69歳	90	37.8	24.4	33.3	33.3	16.7	11.1	35.6	20.0	15.6	30.0	16.7	1.1	
<性別>														
男 性	229	51.5	37.6	35.4	31.4	27.1	23.1	21.8	19.2	22.3	10.5	9.6	1.7	
女 性	323	52.6	40.6	40.2	29.7	28.8	23.2	22.6	23.8	17.6	15.2	14.2	1.9	
<性・年齢別>														
男性 20歳～29歳	25	64.0	44.0	20.0	28.0	-	48.0	12.0	8.0	36.0	4.0	4.0	8.0	
男性 30歳～39歳	39	51.3	46.2	33.3	33.3	30.8	28.2	15.4	25.6	15.4	5.1	10.3	-	
男性 40歳～49歳	62	58.1	30.6	48.4	35.5	48.4	24.2	14.5	21.0	24.2	9.7	9.7	-	
男性 50歳～59歳	58	50.0	48.3	36.2	20.7	19.0	15.5	24.1	13.8	22.4	13.8	8.6	3.4	
男性 60歳～69歳	45	37.8	22.2	26.7	40.0	20.0	13.3	40.0	24.4	17.8	15.6	13.3	-	
女性 20歳～29歳	36	61.1	36.1	27.8	27.8	19.4	50.0	25.0	8.3	25.0	5.6	8.3	-	
女性 30歳～39歳	75	60.0	33.3	40.0	33.3	41.3	28.0	12.0	21.3	9.3	8.0	12.0	-	
女性 40歳～49歳	96	55.2	44.8	44.8	22.9	40.6	17.7	16.7	27.1	20.8	9.4	14.6	2.1	
女性 50歳～59歳	71	46.5	53.5	40.8	38.0	14.1	21.1	35.2	35.2	21.1	16.9	15.5	4.2	
女性 60歳～69歳	45	37.8	26.7	40.0	26.7	13.3	8.9	31.1	15.6	13.3	44.4	20.0	2.2	

未・既婚別にみると、「単身なので、子供を育てることは難しいと思う」は“結婚していない”が59.1%と、“結婚している（事実婚を含む）”より57.5ポイント高く、「実子がいるので、実子と受け入れる子供がうまくいくか分からない」は“結婚している（事実婚を含む）”が37.9%と、“結婚していない”より31.5ポイント高くなっている。「家族の理解が得られないと思う」は“結婚している（事実婚を含む）”が27.6%と、“結婚していない”より18.2ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「単身なので、子供を育てることは難しいと思う」は“子供がいない”が46.8%と、“子供がいる”より41.8ポイント高く、「実子がいるので、実子と受け入れる子供がうまくいくか分からない」は“子供がいる”が42.4%と、“子供がいない”より41.3ポイント高くなっている。

職業別にみると、「仕事があるため、難しいと思う」は勤め人（パートタイム等も含む）が47.2%、自営業（農林漁業、商工業等）が46.7%と高く、「実子がいるので、実子と受け入れる子供がうまくいくか分からない」は主婦・主夫が43.3%と高くなっている。（図7-3）

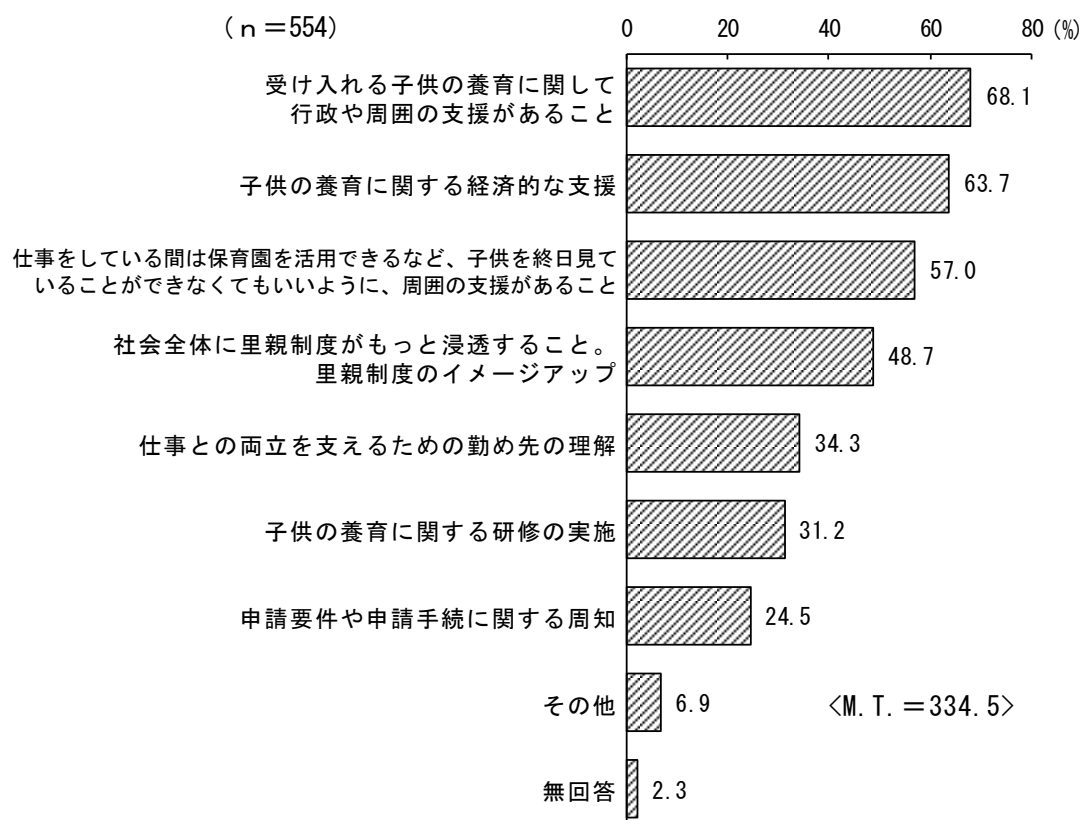
図7-3 里親への登録を希望する際の課題 一未・既婚別、子供の有無別、職業別

	n	な 経 済 的 に 子 供 を 受 け 入 れ る 余 裕 が	仕 事 が あ る た め 、 難 し い と 思 う	入 家 の 広 さ か ら 、 子 供 を 新 た に 受 け	は 血 の つ な が ら な い 子 供 を 育 て る の	る 実 子 が い る の で 、 実 子 と 受 け 入 れ	具 体 的 な こ と が よ く 分 か ら な い	が 必 要 な の か 、 要 件 は ど う な 手 続	里 親 に な る た め に ど の よ う な 手 続	子 供 が 大 き く な る ま で 育 て る 自 信	家 族 の 理 解 が 得 ら れ な い と 思 う	難 し い と 思 う 、 子 供 を 育 て る こ と は	自 分 の 健 康 状 態 か ら 難 し い	そ の 他	無 回 答
全 体	554	52.2	39.5	38.4	30.5	28.2	23.1	22.4	22.0	19.5	13.2	12.3	1.8		
<未・既婚別>															
結婚している （事実婚を含む）	380	47.9	36.8	43.4	33.7	37.9	19.5	23.9	27.6	1.6	11.1	15.0	1.8		
結婚していない	171	62.0	44.4	26.9	23.4	6.4	31.6	18.7	9.4	59.1	18.1	6.4	1.8		
<子供の有無別>															
子供がいる	361	52.4	34.9	43.8	33.8	42.4	18.6	23.5	27.1	5.0	12.2	13.3	1.1		
子供がいない	190	52.1	47.4	27.9	24.2	1.1	32.1	20.0	12.1	46.8	15.3	10.5	3.2		
<職業別>															
勤め人（パート タイム等も含む）	390	53.1	47.2	39.5	31.0	28.5	25.1	22.8	23.1	20.8	9.5	11.3	1.8		
自営業（農林 漁業、商工業等）	45	55.6	46.7	46.7	33.3	24.4	22.2	24.4	17.8	15.6	15.6	15.6	2.2		
主婦・主夫	67	38.8	6.0	40.3	28.4	43.3	16.4	17.9	29.9	-	22.4	14.9	1.5		
学生	10	50.0	20.0	10.0	30.0	-	20.0	10.0	-	30.0	-	10.0	10.0		
無職	34	64.7	8.8	20.6	26.5	8.8	17.6	23.5	8.8	41.2	35.3	17.6	-		
その他	5	40.0	60.0	-	20.0	20.0	20.0	40.0	-	40.0	20.0	-	-		

8 行政による支援等

図8-1

問3-3. (問3で「4 里親になることに関心があるが、難しいと思う」とお答えの方にうかがいます) 行政によるどのような支援等があれば、里親になることができると思いますか。
(複数回答可)



里親になることに関心があるが、難しいと思うと答えた人(554人)に行政によるどのような支援等があれば、里親になることができると思うか聞いたところ、「受け入れる子供の養育に関して行政や周囲の支援があること」の割合が68.1%と最も高く、次いで「子供の養育に関する経済的な支援」が63.7%、「仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること」が57.0%、「社会全体に里親制度がもっと浸透すること。里親制度のイメージアップ」が48.7%、「仕事との両立を支えるための勤め先の理解」が34.3%などの順となっている。(図8-1)

地域別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「受け入れる子供の養育に関して行政や周囲の支援があること」は30歳～39歳が78.9%と高く、「子供の養育に関する経済的な支援」は20歳～29歳が83.6%、30歳～39歳が71.9%と高くなっている。「仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること」は30歳～39歳が67.5%と高くなっている。

性別にみると、「仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること」は女性が61.3%と、男性より10.6ポイント高く、「社会全体に里親制度がもっと浸透すること。里親制度のイメージアップ」は女性が52.6%と、男性より8.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「受け入れる子供の養育に関して行政や周囲の支援があること」は男性30歳～39歳が84.6%と高く、「子供の養育に関する経済的な支援」は女性20歳～29歳が88.9%と高くなっている。「仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること」は女性30歳～39歳が69.3%と高くなっている。(図8-2)

図8-2 行政による支援等 一地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	行政や周囲の子供の養育に関して	子供の養育に関する経済的な支援	仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること	社会全体に里親制度がもっと浸透すること。里親制度のイメージアップ	仕事と両立を支えるための勤め先の理	子供の養育に関する研修の実施	申請要件や申請手続に関する周知	その他	無回答
全体	554	68.1	63.7	57.0	48.7	34.3	31.2	24.5	6.9	2.3
<地域別>										
区部	374	66.8	63.4	56.1	48.4	34.5	30.7	24.1	7.0	2.4
市部	176	71.0	63.6	59.1	49.4	33.5	31.8	25.6	6.3	2.3
町村部	4	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-
<年齢別>										
20歳～29歳	61	59.0	83.6	57.4	42.6	47.5	39.3	36.1	3.3	1.6
30歳～39歳	114	78.9	71.9	67.5	55.3	40.4	26.3	28.9	4.4	0.9
40歳～49歳	158	69.6	69.0	62.7	49.4	36.1	30.4	27.2	5.7	3.2
50歳～59歳	129	65.1	54.3	53.5	46.5	34.1	33.3	17.8	8.5	2.3
60歳～69歳	90	61.1	44.4	37.8	47.8	14.4	31.1	15.6	12.2	3.3
<性別>										
男性	229	66.8	64.6	50.7	43.7	33.6	29.3	22.3	6.6	2.2
女性	323	68.7	63.2	61.3	52.6	34.7	32.8	26.0	7.1	2.5
<性・年齢別>										
男性 20歳～29歳	25	60.0	76.0	48.0	40.0	40.0	36.0	28.0	4.0	4.0
男性 30歳～39歳	39	84.6	71.8	64.1	48.7	41.0	28.2	25.6	7.7	-
男性 40歳～49歳	62	64.5	71.0	61.3	46.8	38.7	30.6	27.4	3.2	6.5
男性 50歳～59歳	58	58.6	56.9	44.8	37.9	36.2	29.3	15.5	8.6	-
男性 60歳～69歳	45	68.9	53.3	33.3	44.4	13.3	24.4	17.8	8.9	-
女性 20歳～29歳	36	58.3	88.9	63.9	44.4	52.8	41.7	41.7	2.8	-
女性 30歳～39歳	75	76.0	72.0	69.3	58.7	40.0	25.3	30.7	2.7	1.3
女性 40歳～49歳	96	72.9	67.7	63.5	51.0	34.4	30.2	27.1	7.3	1.0
女性 50歳～59歳	71	70.4	52.1	60.6	53.5	32.4	36.6	19.7	8.5	4.2
女性 60歳～69歳	45	53.3	35.6	42.2	51.1	15.6	37.8	13.3	15.6	6.7

未・既婚別にみると、「仕事との両立を支えるための勤め先の理解」は“結婚していない”が44.4%と、“結婚している（事実婚を含む）”より14.7ポイント高く、「子供の養育に関する経済的な支援」は“結婚していない”が72.5%と、“結婚している（事実婚を含む）”より12.5ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「仕事との両立を支えるための勤め先の理解」は“子供がいない”が45.8%と、“子供がいる”より17.5ポイント高く、「仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること」は“子供がいない”が65.3%と、“子供がいる”より12.7ポイント高くなっている。

職業別にみると、「仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること」は勤め人（パートタイム等も含む）が63.3%と高く、「社会全体に里親制度がもっと浸透すること。里親制度のイメージアップ」は主婦・主夫が61.2%と高くなっている。（図8-3）

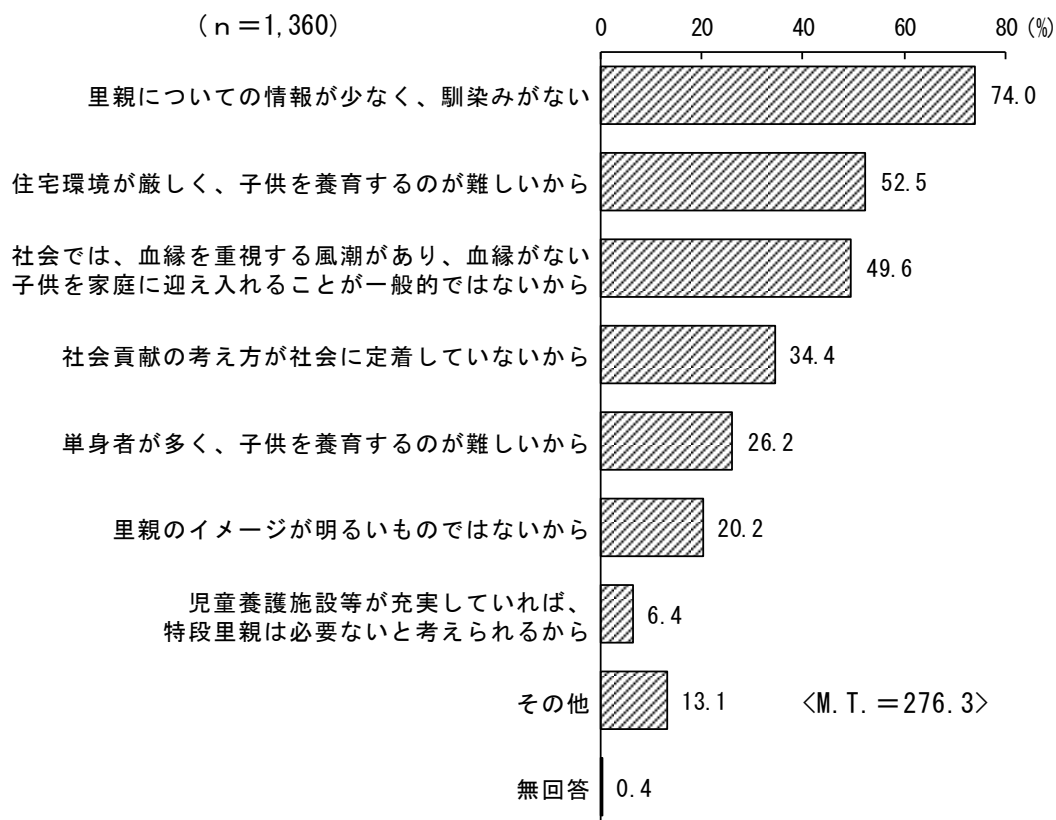
図8-3 行政による支援等 一未・既婚別、子供の有無別、職業別

	n	行政受け入れられる子供の養育に関すること	子供の養育に関する経済的な支援	周囲の支援があること	仕事をしている間は保育園を活用できること	社会全体に里親制度がもっと浸透すること	仕事との両立を支えるための勤め先の理解	子供の養育に関する研修の実施	申請要件や申請手続に関する周知	その他	無回答
全体	554	68.1	63.7	57.0	48.7	34.3	31.2	24.5	6.9	2.3	
<未・既婚別>											
結婚している（事実婚を含む）	380	68.2	60.0	54.5	51.8	29.7	30.3	21.8	7.6	3.2	
結婚していない	171	67.8	72.5	62.6	42.7	44.4	33.9	30.4	4.7	0.6	
<子供の有無別>											
子供がいる	361	69.8	60.1	52.6	49.0	28.3	28.3	20.8	7.5	3.3	
子供がいない	190	64.7	71.1	65.3	48.9	45.8	37.4	31.6	5.3	0.5	
<職業別>											
勤め人（パートタイム等も含む）	390	70.0	66.7	63.3	48.2	39.2	31.3	25.1	6.7	2.6	
自営業（農林漁業、商工業等）	45	62.2	48.9	53.3	42.2	17.8	33.3	22.2	11.1	2.2	
主婦・主夫	67	61.2	56.7	41.8	61.2	19.4	31.3	26.9	6.0	3.0	
学生	10	50.0	70.0	30.0	50.0	30.0	40.0	30.0	-	-	
無職	34	70.6	64.7	32.4	41.2	32.4	29.4	17.6	8.8	-	
その他	5	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	

9 里親制度が普及しない要因

図9-1

問4. 里親制度が広く普及しない要因は何だと思いますか。(複数回答可)



里親制度が広く普及しない要因を聞いたところ、「里親についての情報が少なく、馴染みがない」の割合が74.0%と最も高く、次いで「住宅環境が厳しく、子供を養育するのが難しいから」が52.5%、「社会では、血縁を重視する風潮があり、血縁がない子供を家庭に迎え入れることが一般的ではないから」が49.6%、「社会貢献の考え方が社会に定着していないから」が34.4%、「単身者が多く、子供を養育するのが難しいから」が26.2%などの順となっている。(図9-1)

地域別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「住宅環境が厳しく、子供を養育するのが難しいから」は50歳～59歳が60.2%と高く、「社会では、血縁を重視する風潮があり、血縁がない子供を家庭に迎え入れることが一般的ではないから」は30歳～39歳が56.4%、40歳～49歳が53.9%と高くなっている。

性別にみると、「住宅環境が厳しく、子供を養育するのが難しいから」は男性が55.0%と、女性より4.3ポイント高く、「社会貢献の考え方が社会に定着していないから」は男性が36.2%と、女性より3.1ポイント高くなっている。「里親についての情報が少なく、馴染みがない」は女性が75.4%と、男性より3.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「住宅環境が厳しく、子供を養育するのが難しいから」は男性40歳～49歳が65.0%、男性50歳～59歳が61.0%、女性50歳～59歳が59.9%と高く、「社会では、血縁を重視する風潮があり、血縁がない子供を家庭に迎え入れることが一般的ではないから」は女性30歳～39歳が58.4%と高くなっている。(図9-2)

図9-2 里親制度が普及しない要因 —地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	里親についての情報が少なく、馴染みがない	住宅環境が厳しく、子供を養育するのが難しいから	社会では、血縁を重視する風潮があり、血縁がない子供を家庭に迎え入れることが一般的ではないから	社会貢献の考え方が社会に定着していないから	単身者が多く、子供を養育するのが難しいから	里親のイメージが明るいものではないから	特設児童養護施設等が必要ないと考えられるから	その他	無回答
全体	1,360	74.0	52.5	49.6	34.4	26.2	20.2	6.4	13.1	0.4
<地域別>										
区部	913	74.3	55.3	51.6	34.4	27.9	20.9	7.0	12.9	0.5
市部	436	73.2	47.0	45.4	34.6	22.5	19.0	5.3	13.5	0.2
町村部	11	81.8	36.4	45.5	27.3	27.3	9.1	-	9.1	-
<年齢別>										
20歳～29歳	151	75.5	45.0	42.4	27.2	37.1	23.8	4.6	9.9	-
30歳～39歳	257	77.0	47.1	56.4	30.0	32.7	25.3	5.8	12.5	-
40歳～49歳	347	75.8	57.1	53.9	38.0	24.5	21.0	4.9	13.8	-
50歳～59歳	314	70.1	60.2	47.5	34.7	24.8	19.4	6.4	14.3	1.0
60歳～69歳	284	72.2	47.2	44.0	37.3	16.9	13.4	9.2	12.7	1.1
<性別>										
男性	578	71.8	55.0	48.3	36.2	26.5	19.7	7.1	10.9	0.3
女性	773	75.4	50.7	50.3	33.1	25.5	20.4	5.7	14.5	0.5
<性・年齢別>										
男性 20歳～29歳	62	71.0	50.0	40.3	29.0	45.2	14.5	3.2	11.3	-
男性 30歳～39歳	103	75.7	48.5	53.4	35.0	35.0	24.3	6.8	10.7	-
男性 40歳～49歳	140	75.0	65.0	54.3	37.1	25.0	25.0	5.7	11.4	-
男性 50歳～59歳	141	69.5	61.0	48.2	31.9	25.5	20.6	7.8	9.9	1.4
男性 60歳～69歳	132	68.2	45.5	41.7	43.9	13.6	12.1	9.8	11.4	-
女性 20歳～29歳	89	78.7	41.6	43.8	25.8	31.5	30.3	5.6	9.0	-
女性 30歳～39歳	154	77.9	46.1	58.4	26.6	31.2	26.0	5.2	13.6	-
女性 40歳～49歳	206	76.2	51.9	53.4	38.8	24.3	18.0	4.4	15.5	-
女性 50歳～59歳	172	70.3	59.9	46.5	37.2	23.8	18.6	5.2	17.4	0.6
女性 60歳～69歳	152	75.7	48.7	46.1	31.6	19.7	14.5	8.6	13.8	2.0

未・既婚別にみると、「単身者が多く、子供を養育するのが難しいから」は“結婚していない”が46.0%と、“結婚している（事実婚を含む）”より29.6ポイント高く、「社会貢献の考え方が社会に定着していないから」は“結婚している（事実婚を含む）”が37.0%と、“結婚していない”より8.1ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「単身者が多く、子供を養育するのが難しいから」は“子供がいない”が43.3%と、“子供がいる”より27.6ポイント高く、「社会貢献の考え方が社会に定着していないから」は“子供がいる”が36.7%と、“子供がいない”より6.3ポイント高くなっている。

職業別にみると、大きな差はみられない。（図9-3）

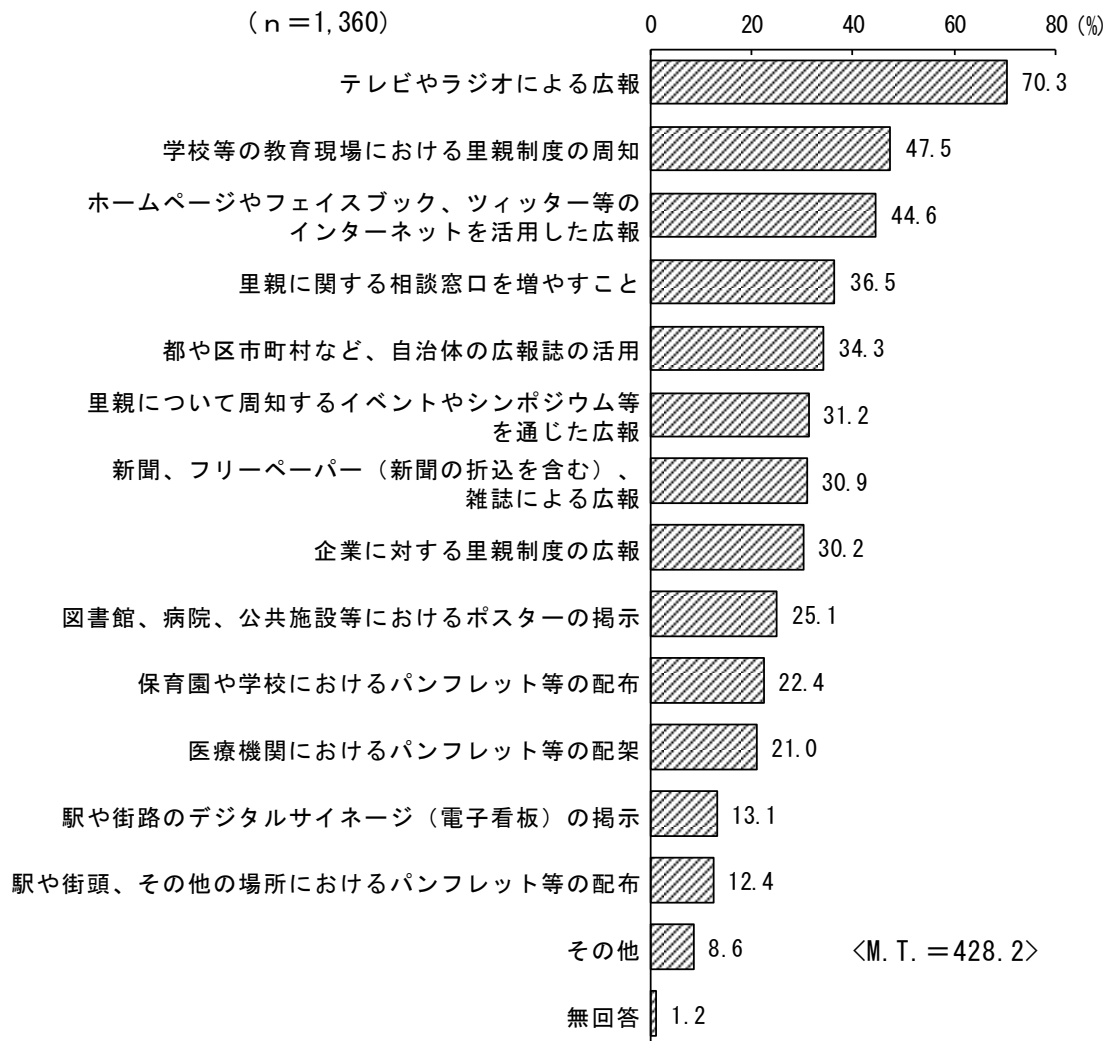
図9-3 里親制度が普及しない要因 —未・既婚別、子供の有無別、職業別

	n	み 親 が な い に つ い て の 情 報 が 少 な く、 馴 染	の 住 宅 環 境 が 厳 し く、 子 供 を 養 育 す る	れ り、 社 会 で は、 血 縁 が な い 子 供 を 家 庭 に 迎 え 入 ら な い か ら	い 社 会 貢 献 の 考 え 方 が 社 会 に 定 着 し て	難 単 身 者 が 多 く、 子 供 を 養 育 す る の が	い 親 の イ メ ー ジ が 明 る い も の で は な	ら 特 児 童 養 護 施 設 等 が 充 実 し て い れ ば、 か	そ の 他	無 回 答
全 体	1,360	74.0	52.5	49.6	34.4	26.2	20.2	6.4	13.1	0.4
<未・既婚別>										
結婚している （事実婚を含む）	910	74.0	53.8	51.1	37.0	16.4	20.5	6.6	13.4	0.3
結婚していない	439	74.0	49.7	46.0	28.9	46.0	19.6	5.7	11.8	0.7
<子供の有無別>										
子供がいる	847	73.4	54.1	50.2	36.7	15.7	19.2	6.6	13.2	0.6
子供がいない	503	74.8	50.1	48.5	30.4	43.3	21.9	5.6	12.7	0.2
<職業別>										
勤め人（パート タイム等も含む）	939	74.2	54.6	50.7	35.6	26.9	21.9	6.2	12.0	0.2
自営業（農林 漁業、商工業等）	101	70.3	58.4	45.5	33.7	31.7	12.9	7.9	12.9	2.0
主婦・主夫	180	78.9	45.0	50.6	28.3	13.3	20.6	6.1	15.0	1.1
学生	29	75.9	31.0	34.5	27.6	17.2	17.2	10.3	17.2	-
無職	86	66.3	45.3	46.5	34.9	33.7	10.5	5.8	15.1	-
その他	16	62.5	43.8	43.8	43.8	37.5	18.8	-	31.3	-

10 有効な広報

図10-1

問5. 今後、里親制度に関して広く都民の方に知っていただき、理解していただくために、どのような広報が有効だと思いますか。(複数回答可)



里親制度に関してどのような広報が有効だと思うか聞いたところ、「テレビやラジオによる広報」の割合が70.3%と最も高く、次いで「学校等の教育現場における里親制度の周知」が47.5%、「ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報」が44.6%、「里親に関する相談窓口を増やすこと」が36.5%、「都や区市町村など、自治体の広報誌の活用」が34.3%などの順となっている。(図10-1)

地域別にみると、「都や区市町村など、自治体の広報誌の活用」は市部が40.1%と高くなっている。

年齢別にみると、「学校等の教育現場における里親制度の周知」は20歳～29歳が57.6%、40歳～49歳が54.8%と高く、「ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報」は20歳～29歳が63.6%、30歳～39歳が53.7%と高くなっている。「都や区市町村など、自治体の広報誌の活用」は60歳～69歳が50.4%と高く、「企業に対する里親制度の広報」は30歳～39歳が40.5%と高くなっている。

性別にみると、「テレビやラジオによる広報」は女性が74.4%と、男性より8.8ポイント高く、「里親に関する相談窓口を増やすこと」は女性が40.6%と、男性より8.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「テレビやラジオによる広報」は女性40歳～49歳が77.2%と高く、「学校等の教育現場における里親制度の周知」は男性20歳～29歳が59.7%、女性20歳～29歳が56.2%、女性30歳～39歳が55.8%、男性40歳～49歳が55.0%、女性40歳～49歳が54.4%と高くなっている。

(図10-2)

図10-2 有効な広報 —地域別、年齢別、性別、性・年齢別

	n	テレビやラジオによる広報	学校等の教育現場における里親制度の周知	ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報	里親に関する相談窓口を増やすこと	都や区市町村など、自治体の広報誌の活用	里親等を通じて周知するイベントやシンポジウム等	新聞、フリーペーパー（新聞の折込を含む）、雑誌による広報	企業に対する里親制度の広報	図書館、病院、公共施設等におけるポスターの掲示	保育園や学校におけるパンフレット等の配布	医療機関におけるパンフレット等の配架	駅や街頭のデジタルサイネージ（電子看板）の掲示	駅や街頭、その他の場所におけるパンフレット等の配布	その他	無回答
全体	1,360	70.3	47.5	44.6	36.5	34.3	31.2	30.9	30.2	25.1	22.4	21.0	13.1	12.4	8.6	1.2
<地域別>																
区部	913	70.0	47.6	46.8	36.0	31.4	29.5	30.8	31.4	25.0	22.1	22.0	13.8	11.9	8.9	1.1
市部	436	70.9	46.8	39.9	37.4	40.1	35.1	31.4	27.5	25.2	22.5	19.0	11.2	13.3	8.3	1.1
町村部	11	72.7	63.6	54.5	45.5	36.4	18.2	18.2	36.4	36.4	45.5	18.2	27.3	18.2	-	9.1
<年齢別>																
20歳～29歳	151	69.5	57.6	63.6	41.7	23.2	22.5	25.2	33.8	28.5	27.8	25.8	25.8	19.2	5.3	0.7
30歳～39歳	257	70.0	52.5	53.7	37.4	24.9	26.5	26.8	40.5	25.3	31.5	23.3	18.3	14.8	10.1	0.4
40歳～49歳	347	69.7	54.8	47.0	37.5	35.4	32.6	31.7	34.9	27.4	25.6	28.0	14.4	13.0	8.4	-
50歳～59歳	314	72.3	46.5	41.7	34.1	32.2	34.4	30.6	26.8	24.8	17.5	15.9	8.9	9.6	12.7	0.6
60歳～69歳	284	71.1	31.0	27.8	35.6	50.4	35.6	37.7	18.0	21.5	13.4	14.1	4.9	9.5	4.9	1.8
<性別>																
男性	578	65.6	47.2	45.7	31.7	30.6	30.3	28.5	33.7	21.1	19.6	17.5	13.7	13.7	9.2	0.5
女性	773	74.4	48.1	44.2	40.6	37.4	32.1	33.0	27.9	28.3	24.7	23.9	12.8	11.6	8.2	0.8
<性・年齢別>																
男性 20歳～29歳	62	67.7	59.7	64.5	32.3	21.0	22.6	25.8	30.6	21.0	24.2	19.4	29.0	17.7	4.8	-
男性 30歳～39歳	103	66.0	47.6	46.6	33.0	24.3	26.2	21.4	42.7	24.3	24.3	19.4	19.4	17.5	9.7	1.0
男性 40歳～49歳	140	58.6	55.0	50.7	39.3	32.1	35.7	27.9	40.7	23.6	27.1	26.4	14.3	14.3	12.9	-
男性 50歳～59歳	141	70.2	46.8	43.3	27.7	26.2	30.5	27.0	29.1	22.0	13.5	14.2	9.9	9.9	10.6	0.7
男性 60歳～69歳	132	66.7	33.3	33.3	26.5	43.2	31.1	37.9	25.8	15.2	12.1	9.1	5.3	12.1	5.3	0.8
女性 20歳～29歳	89	70.8	56.2	62.9	48.3	24.7	22.5	24.7	36.0	33.7	30.3	30.3	23.6	20.2	5.6	1.1
女性 30歳～39歳	154	72.7	55.8	58.4	40.3	25.3	26.6	30.5	39.0	26.0	36.4	26.0	17.5	13.0	10.4	-
女性 40歳～49歳	206	77.2	54.4	44.7	36.4	37.9	30.1	34.5	31.1	29.6	24.3	29.1	14.6	12.1	5.3	-
女性 50歳～59歳	172	73.8	46.5	40.1	39.5	37.2	37.8	33.7	25.0	27.3	20.9	17.4	8.1	9.3	14.0	0.6
女性 60歳～69歳	152	75.0	28.9	23.0	43.4	56.6	39.5	37.5	11.2	27.0	14.5	18.4	4.6	7.2	4.6	2.6

未・既婚別にみると、「都や区市町村など、自治体の広報誌の活用」は“結婚している（事実婚を含む）”が38.1%と、“結婚していない”より11.0ポイント高くなっている。「ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報」は“結婚していない”が51.0%と、“結婚している（事実婚を含む）”より8.9ポイント高くなっている。「企業に対する里親制度の広報」は“結婚していない”が36.4%と、“結婚している（事実婚を含む）”より9.0ポイント高くなっている。

子供の有無別にみると、「ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報」は“子供がいない”が54.3%と、“子供がいる”より14.9ポイント高く、「都や区市町村など、自治体の広報誌の活用」は“子供がいる”が39.7%と、“子供がいない”より14.1ポイント高くなっている。

職業別にみると、「学校等の教育現場における里親制度の周知」は学生が69.0%と高く、「ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報」は学生が55.2%、勤め人（パートタイム等も含む）が47.9%と高くなっている。「企業に対する里親制度の広報」は勤め人（パートタイム等も含む）が34.2%と高くなっている。（図10-3）

図10-3 有効な広報 ー未・既婚別、子供の有無別、職業別

	n	テレビやラジオによる広報	学校等の教育現場における里親制度の周知	ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報	里親に関する相談窓口を増やすこと	都や区市町村など、自治体の広報誌の活用	ウミ等を通じて周知するイベントやシンポジウム	新聞、フリーペーパー（新聞の折込を含む）、雑誌による広報	企業に対する里親制度の広報	図書館、病院、公共施設等におけるポスターの掲示	保育園や学校におけるパンフレット等の配布	医療機関におけるパンフレット等の配架	駅や街路のデジタルサイネージ（電子看板）の掲示	駅や街頭、その他の場所におけるパンフレットの配布	その他	無回答
全体	1,360	70.3	47.5	44.6	36.5	34.3	31.2	30.9	30.2	25.1	22.4	21.0	13.1	12.4	8.6	1.2
<未・既婚別>																
結婚している（事実婚を含む）	910	71.8	48.1	42.1	35.9	38.1	32.0	32.6	27.4	24.9	23.1	20.5	11.4	11.2	8.8	0.7
結婚していない	439	68.8	47.4	51.0	38.5	27.1	29.8	28.0	36.4	26.0	21.4	22.3	16.9	15.3	8.2	0.7
<子供の有無別>																
子供がいる	847	72.4	47.8	39.4	37.9	39.7	32.1	33.4	27.3	25.9	24.6	21.4	10.4	11.2	8.5	0.7
子供がいない	503	67.8	47.9	54.3	35.0	25.6	30.0	27.0	35.6	24.5	19.1	20.9	17.9	14.7	8.9	0.6
<職業別>																
勤め人（パートタイム等も含む）	939	71.7	48.9	47.9	36.5	33.2	31.3	29.9	34.2	25.8	24.1	21.4	14.4	13.6	8.9	0.3
自営業（農林漁業、商工業等）	101	61.4	46.5	42.6	37.6	33.7	32.7	29.7	25.7	23.8	20.8	22.8	9.9	8.9	8.9	3.0
主婦・主夫	180	72.8	47.2	33.9	38.3	40.6	36.1	34.4	20.0	28.9	22.8	25.0	10.0	8.9	7.8	1.7
学生	29	69.0	69.0	55.2	31.0	10.3	13.8	20.7	17.2	20.7	24.1	13.8	17.2	17.2	3.4	-
無職	86	70.9	29.1	36.0	36.0	41.9	25.6	37.2	22.1	19.8	9.3	11.6	10.5	9.3	7.0	-
その他	16	50.0	56.3	31.3	37.5	37.5	37.5	50.0	25.0	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	18.8	-

調査票及び単純集計結果

東京都

〈表記のない項目は、n=1,360 を 100.0 として%を算出〉



令和元年度東京都里親制度に関する都民の意識調査 調査票

ID : パスワード :

令和元年 6 月

東京都福祉保健局少子社会対策部

インターネットでご回答いただく場合は、記載された ID とパスワードを入力してください。

里親制度について、枠内をお読みいただき、問 1 からの質問にお答えください。

〈里親制度とは〉

都内には、親の病気、児童虐待などの様々な事情により家庭で暮らすことのできない子供が約 4,000 人います。このような子供たちは、乳児院や児童養護施設等のほか、「里親」のもとで生活をしています。

「里親」は、こうした子供を自らの家庭に迎え入れて、共に生活し、養育してくださる方のことです。

東京都の里親には、大別して、養子縁組を目的とせず、一定の期間、共に生活する養育家庭（里親）と、養子縁組を前提とする養子縁組里親があります。

※下記のホームページでも東京都の里親制度についてご確認いただくことができます。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/satooya/seido/hotfamily/satooya/index.html>（「東京都の里親制度」で検索できます。）

問 1. あなたは「里親制度」を知っていましたか。（1つを選択）

21.4 言葉も内容も知っていた

68.0 言葉は聞いたことはあったが、制度の内容は詳しく知らなかった

8.2 知らなかった（この調査で知った）（→問 2 へ）

2.4 無回答

問 1-1.（問 1 で「1 言葉も内容も知っていた」「2 言葉は聞いたことはあったが、制度の内容は詳しく知らなかった」とお答えの方にうかがいます）

あなたは「里親制度」をどのようにして知りましたか。（複数回答可） 〈n=1,216〉

72.1 テレビやラジオにより知った

19.3 新聞、フリーペーパー（新聞の折込を含む）、雑誌で見た

8.2 都や区市町村の広報紙で見た

6.8 ホームページや、フェイスブック、ツイッター等のインターネットにより知った
⇒どのホームページで見たか分かれば記載してください（ ）

6.6 学校で教わった

9.9 知人、友人等から聞いた

6.0 地域や知人等で里親をしている（していた）人がいる

6.2 図書館、病院、公共施設等で掲示されているポスターを見た

1.9 医療機関に配架されたパンフレット等を見た

1.7 保育園や学校で配布されたパンフレット等を見た

1.3 駅や街頭、その他の場所で配布されたパンフレット等を見た

0.7 駅や街路のデジタルサイネージ（電子看板）で見た

1.6 イベントやシンポジウム等で聞いた

7.3 その他（具体的に ） 6.6 無回答

問 1-2 もお答えください

問1-2. (問1で「1 言葉も内容も知っていた」「2 言葉は聞いたことはあったが、制度の内容は詳しく知らなかった」とお答えの方にはうかがいます)

「里親制度」について知っていたことを選んでください。(複数回答可) <n=1,216>

66.0	里親は児童福祉法に基づく、保護者の下で暮らすことのできない子供のための制度である	
10.4	里親の登録申請は、都内にある児童相談所で受けつけている	
16.1	里親に対しては、子供を委託している期間、子供の生活費が支払われる	
20.3	里親には養子縁組を目的としない養育家庭(里親)と養子縁組を前提とする養子縁組里親、親族里親等がある	
4.2	都では養育家庭(里親)に「ほっとファミリー」という愛称をつけている	
25.8	里親は、児童福祉法に基づき一定の基準を満たした養育を子供に対して行う責務がある	
19.9	子供の養育に関して児童相談所をはじめとした関係機関の支援がある	
3.8	2か月未満の短期間のみ子供を預かる里親もいる	
23.1	上記の内容はすべて知らなかった	2.0 無回答

<ここからはすべての方にはうかがいます>

問2. あなたは「里親」について、どのような印象を持っていますか。(複数回答可)

67.1	社会的に意義があり、必要な制度だと思う	27.9	子供を皆で育てていくという温かいイメージがある
5.6	児童養護施設等の施設が充実していれば、必要性はあまり感じない	22.7	かわいそうな子供を育てるイメージがある
68.4	里親は必要だと思うが、血のつながらない子供を預かることは大変だと思う	7.5	社会の風潮として、馴染みにくいと思う
41.3	必要な制度だと思うが、身近に感じられない	4.2	その他(具体的に)
		0.8	無回答

問3. あなたご自身は里親になってみたい気持ちはありますか。(1つを選択)

3.5	里親(養育家庭、養子縁組里親を問わず)になってみたい	49.7	里親は必要な制度だと思うが、自分はなりたくない
1.2	養育家庭(里親)になってみたい	3.9	里親制度に関心がない
0.4	養子縁組里親になってみたい	0.1	既に里親をしている
40.7	里親になることに興味があるが、難しいと思う(→問3-2、問3-3へ)		(→問4へ)
		0.5	無回答

※養育家庭(里親)は、養子縁組を目的とせず、一定の期間、子供を預かります。養子縁組里親は養子縁組を前提とした里親です。

問3-1. (問3で1、2、3のいずれかとお答えの方にはうかがいます)

あなたが里親になってみたい理由は何ですか。(複数回答可) <n=69>

36.2	社会福祉の役に立ちたいから	17.4	自分の経験や能力を活かすことができると思うから
7.2	もっと子育てがしたいから	5.8	知り合いがしていて、身近な制度に感じるから
24.6	実子がないから	68.1	親元で過ごすことのできない子供にとって家庭的な環境は必要だと思うから
46.4	子供が好きだから	14.5	その他(具体的に)
			- 無回答

(→問4へ)

問3-2. (問3で「4 里親になることに関心があるが、難しいと思う」とお答えの方にはうかがいます)
 里親になりたい気持ちがあっても、里親への登録を希望する際に何が課題になると
 思いますか。(複数回答可) <n=554>

- | | | |
|------|---|-----------|
| 23.1 | 里親になるためにどのような手続が必要なのか、申請はどこにすればよいのか、要件は何かといった具体的なことがよく分からない | |
| 38.4 | 家の広さから、子供を新たに受け入れる余裕がない | |
| 52.2 | 経済的に子供を受け入れる余裕がない | |
| 39.5 | 仕事があるため、難しいと思う | |
| 22.0 | 家族の理解が得られないと思う | |
| 19.5 | 单身なので、子供を育てることは難しいと思う | |
| 28.2 | 実子がいるので、実子と受け入れる子供がうまくいくか分からない | |
| 13.2 | 自分の健康状態から難しい | |
| 30.5 | 子供が大きくなるまで育てる自信がない | |
| 12.3 | 血のつながらない子供を育てるのは難しいと思う | |
| 1.8 | その他 (具体的に |) 1.8 無回答 |

問3-3. (問3で「4 里親になることに関心があるが、難しいと思う」とお答えの方にはうかがいます)
 行政によるどのような支援等があれば、里親になることができると思いますか。
 (複数回答可) <n=554>

- | | | |
|------|---|-----------|
| 24.5 | 申請要件や申請手続に関する周知 | |
| 63.7 | 子供の養育に関する経済的な支援 | |
| 48.7 | 社会全体に里親制度がもっと浸透すること。里親制度のイメージアップ | |
| 34.3 | 仕事との両立を支えるための勤め先の理解 | |
| 57.0 | 仕事をしている間は保育園を活用できるなど、子供を終日見ていることができなくてもいいように、周囲の支援があること | |
| 68.1 | 受け入れる子供の養育に関して行政や周囲の支援があること | |
| 31.2 | 子供の養育に関する研修の実施 | |
| 6.9 | その他 (具体的に |) 2.3 無回答 |

<ここからはすべての方にはうかがいます>

問4. 里親制度が広く普及しない要因は何だと思いますか。(複数回答可)

- | | | |
|------|--|-----------|
| 74.0 | 里親についての情報が少なく、馴染みがない | |
| 6.4 | 児童養護施設等が充実していれば、特段里親は必要ないと考えられるから | |
| 49.6 | 社会では、血縁を重視する風潮があり、血縁がない子供を家庭に迎え入れることが一般的ではないから | |
| 34.4 | 社会貢献の考え方が社会に定着していないから | |
| 26.2 | 単身者が多く、子供を養育するのが難しいから | |
| 52.5 | 住宅環境が厳しく、子供を養育するのが難しいから | |
| 20.2 | 里親のイメージが明るいものではないから | |
| 13.1 | その他 (具体的に |) 0.4 無回答 |

問5. 今後、里親制度に関して広く都民の方に知っていただき、理解していただくために、どのような広報が有効だと思いますか。(複数回答可)

70.3	テレビやラジオによる広報			
30.9	新聞、フリーペーパー(新聞の折込を含む)、雑誌による広報			
34.3	都や区市町村など、自治体の広報誌の活用			
44.6	ホームページやフェイスブック、ツイッター等のインターネットを活用した広報			
47.5	学校等の教育現場における里親制度の周知			
25.1	図書館、病院、公共施設等におけるポスターの掲示			
21.0	医療機関におけるパンフレット等の配架			
22.4	保育園や学校におけるパンフレット等の配布			
12.4	駅や街頭、その他の場所におけるパンフレット等の配布			
13.1	駅や街路のデジタルサイネージ(電子看板)の掲示			
31.2	里親について周知するイベントやシンポジウム等を通じた広報			
30.2	企業に対する里親制度の広報			
36.5	里親に関する相談窓口を増やすこと			
8.6	その他(具体的に		1.2	無回答

<最後に、回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについてお聞きします>

F1 お住まいの地域は。(1つを選択)

17.1	区部	32.1	市部	0.8	町村部	-	無回答
------	----	------	----	-----	-----	---	-----

F2 あなたの年代は。(1つを選択)

11.1	20歳~29歳	25.5	40歳~49歳	20.9	60歳~69歳
18.9	30歳~39歳	23.1	50歳~59歳	0.5	無回答

F3 あなたの性別は。(1つを選択)

42.5	男性	56.8	女性	0.7	無回答
------	----	------	----	-----	-----

F4 あなたは現在結婚されていますか。(1つを選択)

66.9	結婚している(事実婚を含む)	32.3	結婚していない	0.8	無回答
------	----------------	------	---------	-----	-----

F5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(別居を含む)(1つを選択)

62.3	子供がいる	37.0	子供がいない	0.7	無回答
------	-------	------	--------	-----	-----

F6 あなたのお仕事はどれにあたりますか。(1つを選択)

69.0	勤め人(パートタイム等も含む)	13.2	主婦・主夫	6.3	無職
7.4	自営業(農林漁業、商工業等)	2.1	学生	1.2	その他(具体的に
				0.7	無回答

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

この調査票は同封の返信用封筒に入れ、**7月16日(火)まで**にご投函ください。

令和元年度
東京都里親制度に関する都民の意識調査

令和元年8月発行

東京都福祉保健局少子社会対策部育成支援課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話：03-5320-4221